

京古本やは木

私と古書店とのおつきあいはもう五十三年の永きに亘っている。昭和二年の夏に上京すると、私は飛ぶように神田の一誠堂書店に馳けつけた。大震災の後に新築された四階建の同書店は、私には古書の殿堂のようと思われた。先代社長の酒井氏も、まだまだ健在であつて、店の奥に鎮坐されていた。この時、八代国治博士ら編の『国史大辞典』を貰った時の欣びは、今なお忘れ難い思い出である。仙台一中に在学していた私は、学校帰りにはしばしば元荒町の文林館書店に立寄った。これは純粹な小売店で、古い古本屋であったが、歴史に関する珍しい本が多く、私の愉しみの一つであった。また休みには、東一番丁の無二文館書店にも出掛けた。ここには、山田孝雄、阿部次郎、小宮豊隆など、東北大学の

著名な先生がたかいつも詫ね来られ、主人と歓談されていた。ある日、私は、三宅米吉著『考古学研究』を書棚に見つけこれをとり出して値段をきいた。変人で通つていたこの主人は、「そんな本、君には分かんないよ。」とべもなく本をもどし、値段を教えてくれなかつた。今でも同書を見ると、ホロ苦い思い出が浮ぶが、昭和の初めには、よかれ悪かれ見識を備へ、気位が高く大学の先生たちと対等に話せる古書店の店主が少くなかつた。京都の大学堂の前店主なども、清野謙次先生などと対等に話をしており、一学生の私などは羨望の気持をもつて遠くからそれを眺め、自分も後年にはそなりたいものだと望んでいた。若い時分からの私の固い信条は、立派な古書店街のないまちは絶対住まなかつた。

私の側近のひとは、私を「本気違ひ」と評している。しかし私は、清野先生などと違つて専門以外の本には殆んど手を出さない。趣味の本など全く買わない。ただその買ひ方が徹底しているのである。ただ今私は、江戸時代の女性の名の研究に没頭しているが、奥史や市町村史に収録された夥しい『宗門改人別帳』だけでは満足できず、私は人別帳の現物を何十冊も買い集めている。実のところそれほど多數集める必要はないのであるが、見つけると買わざにはいられない性分であるから困つたものである。

よいであろうか。なにしろ、「考古学会雑誌」から「考古界」、「考古学雑誌」を経て、「考古学雑誌」をバーカーで一冊づつ買い揃えた私のことであるから、その時分には本漁りの情熱に燃えただっていと誰つてよからう。

研究分野一狭い意味でのーは時々変るので、私の古書漁りは今を除いて一向に衰えをみせない。東京におまっしぐらに神保町に駆けつける時の嬉しさは、少年の頃と少しも渝っていない。本代はいつも家計を圧迫しているけれども、戦前型の亭主の私は、女道楽よりもよい本搜しに年季の入った巧みさがどうう」とうそぶいて、一向改めようとしない。

戦後にも丹念に捜すとまだまだよい本が入手出来る。それに私には本搜しに年季の入った巧みさがどうう」とうそぶいて、一向改めようとしない。

筆者紹介
大阪市立大学教授をへて現在平
安博物館館長。兼 教授。文学
博士、古代学者。
主な著書として『古代学序説』
『北方古代文化の研究』『ヨーロ
ッパ古代史論考』他多数ある。

角田文衛

学生時代の私は、女性との散歩が嫌いではなかつたが、古本屋街はほどの魅力はなかつた。これか丸太町や寺町通の古書店廻りに掛けようとする時の心のときめ

などは、店の奥のカウンターの前に腰かけ、番茶をすりすりながら店主と古書について清談する機会を、東京でも、京都でも、もっと多くもちたいと念願している。

季刊
第 10 号
京都古書研究会
発行
〒604 京都市中京区
東洞院六角上
京都府古書籍商業協同組合
振替 京都 2 2 1 3
年間購読料 2 4 0
(送料込)

うござみであった。ヨーロッパ諸国で、昔の店主はプロフェッサーや士官としており、若い学徒の私たちに「*エタノトキ*」と本について教えてくれた。どう言えど、終戦前のバルビン由良もよい古書店があり、店主の老先生は帝政時代の考古学書について語った。

ある。しかしブロフェッサ一人など、した店主は、日本でも、ヨーロッパでも少なくなった。ドイツ、ボン市のルドルフ・ハーベルト博士などは、そうした勝れた店主の代表であろう。古書事情は戦後一変し、必ずしも広い識見を心要とした。

書肆 中野五郎左衛門のことなど (上)

ことしも亦、晚秋の十一月に百
万遍の知恩寺境内に於て古本供養
青空古本市が催される。もうすっ
かり定着した觀がある。そもそも
知恩寺と京洛書籍商との因縁は寛
永の昔以来浅からずであった。そ
の意味でも京都古書研究会主催に
於て古本供養を営むこと、まことに
に感慨深い行事であると考えねば
なるまい。

知恩寺の一塔頭たる了蓮寺は、
當利出版書林中野氏の菩提寺であ
った。都の錦が著わす浮世草子
『元禄太平記』(元禄十五年刊)に
は京都書林なかんづく老舗「十哲」
のうちに右中野氏を挙げており、
了蓮寺との寺縁についてもすでに
新村出先生の調査研究を始め井上
和雄編『増訂京都書賈集覽』、寺田
貞次著『京都名家墳墓錄』など先
学の御論考によつて明らかにせら
れてゐる。そしてこ、百万遍の
了蓮寺墓地には中野道伴(市右衛
門、四条寺町大文字町)を筆頭に、
道也(道伴弟、初代小左衛門、寺
町通五条上ル丁)・貞昌(道也の
子、吉右衛門)・五郎左衛門(後
述)・是誰(太郎左衛門、五条寺
町上ル町)等々、いわゆる中野フ
アミリーの御靈がねむつてゐる筈

である。

安藤武彦

である。

私は昨五十四年十月六日の昼下
がりに、ふた、び了蓮寺を詣でた。

お目当てはやはり五年前果たすこと
とが出来なかつた、仮名草子『尤

草紙』寛永十一年再板本の版元、
前記中野道伴とその一族の墓碑探
索にあつた。了蓮寺墓地で、秋の
日差しを背に受けつ、生れて始めて
無縁塔に登る。仏罰があたりは
せぬか、そんな感れからか足元が
小刻みにふるえてきてどうにもな
らぬ。(中略) 小一時間位たつたろ
うか。掃苔空しく、ついに断念し
て無縁塔からおりて何気なしに最
前列の墓碑群に疲れた視線を向け
たときである。道伴ではないがあ
つたのなら物の本屋「中野五郎左
衛門」とその家族の供養塔などを、
無縁塔の中より見出したのであ
る。碑の様式は第十二種五号型(一
京都名冢墳墓錄)で、少しく黒ずんで見
えた。寸法は、高さ中央部より四
十九厘米、横二十三厘米。

(左横) 春 元禄五王 中年一月朔日
眞 宝永六〇年八月廿一日
(註) 涼月宗三 天和三十六
十一 本屋孫四郎 清真珠
光 万治二・七・廿九 本
屋五郎左衛門母 廉室道閑
寛文四・十・八 本屋五郎
左衛門 浄岸珠清 延宝元
廿一 十六歳歿 中野五郎
左衛門娘 香雲童女 延宝
四・五・十本屋五郎左衛門
妹 真室芳林 宝永六・八
廿一 十六歳歿 中野五郎
左衛門娘 素白童女 延宝
一十二歳歿 本屋五郎左
衛門娘 素白童女 延宝九
・七・廿六 本屋五郎左衛
門娘 以上は了蓮寺藏『歴
歲歸眞錄』に基づいて註記
を加えた。以下同じ。

(右横) (裏面) (註)
□ 清屋方榮信女
□ 道譽は休信士
□ 譲采□信女

(左横) (裏面) (註)
心岸是俊信士
心竟妙榮信女

(右横) (裏面) (註)
元禄八乙亥年
四月廿四日

(右横)

春 元禄五王 中年一月朔日
眞 宝永六〇年八月廿一日

(裏面)

□ 中野氏

(註) 本碑は『京都名家墳墓錄』
にも見えている。大正の頃、
には小丘輪塔で無縁墓では
なかつた。碑面の寸法、高
さ十六厘米、横十五厘米、清屋方
榮は正徳二・十二・十九、
十九歳歿、是俊こと中野宗
左衛門(後述)の妹である。



中野郎左衛門夫妻の墓碑(手前)
と五郎左衛門らの供養塔(後方)

(正面) (註)
涼月宗三 清真珠光
摩室道閑 净岸珠清
眞室芳林 香雲童女
春光理采 素白童女

(正面) (註)
栄 宝暦十二巳十月廿一日
口 十二月十九日

(裏面) 中野氏

さて、書肆五郎左衛門伝である
が、こんにち先學の諸論考の中で
は比較的詳細にまとめられている
ものに、小川武彦氏の仮名草子『似
我蜂物語』解題(『延宝文書資料類編』
中のそれを挙げるべきであろうか。
五郎左衛門は京の案内書『京羽二
重(貞享二年刊)』の「書物屋」の
項目にとくに十店の名を列挙して、
そのうちの一人——法華書の版元
として数えられている。『物之本
屋』(『同花』)である。号は道閑とい

近世京都の本屋

(六)

宗政五十緒

九、八文字屋八左衛門

江戸中期の京都の草紙屋として最も名高い店は八文字屋である。

主人は安藤氏、通称は代々、八左衛門、この店から出版された小説、浮世草子、を日本文学史では八文字屋本と称する。八文字屋本は狭義には八文字屋八左衛門刊の浮世草子のみを指すのだが、広義にはこれに類似した江戸中期の作品をも含んでいる。文学史で本屋の名をジャンル名に用いているのはこの八文字屋だけだから、この本屋が日本小説史上のこした功が如何に大きいものであったか知られるのである。

八文字屋の創業は一六五〇年頃と思われる。現在知られているこの店の最古の刊本は慶安四年(一六五二)七月出版の、佐渡七太夫の正本、説経『じんとく丸』である。この頃は六角通大黒町に店があった。大黒町は麁屋町と柳馬場との間の町だから、現在の新京極の中央、誓願寺を少し西へ行った。

あたりに位置していたのである。

六角通りは江戸時代には普通、誓願寺通りと呼んでいた。

その後、万治二年(一六五九)頃、少し東南に当る麁屋町誓願寺下る町の西側南寄りに店を移した。現在、八文字屋跡の石碑のある附近である。更に元禄十七年(宝永元年、一七〇四)には同町の東側北寄りにと、少し東北に店を移している。

二代目八左衛門は号を自笑といい、この人が八文字屋を大きく発展させたのである。初代のことは詳しく述べられないが法名を寂聲宗源といつた人らしい。自笑しても生年は詳しきわからない。寛文(けいせいきんなんき)などはその代表作である。

八文字屋の創業は一六五〇年頃と思われる。現在知られているこの店の最古の刊本は慶安四年(一

今、是を書納めと思ひ「云々とあり、目録に六十部の浮世草子を掲げている。この著書は多くは代作者がいたのであるが、彼自身もいぱくかは執筆したと思われる。彼を含めてこの家の墓は富小路五条南入る、本覚寺に建てられたのだが、八文字屋の墓として現存するのは唯一墓だけである。

八文字屋はもともと初代が淨瑠璃の正本屋として出発し、京都の正本屋では山本九兵衛・鶴屋喜右衛門に次ぐ店であった。自笑が元禄に入つて、これに絵人狂言本の出版をまず加えた。絵人狂言本とは歌舞伎のストーリーに挿絵を入れた小冊子で、これを読みこれを見れば、芝居の舞台が眼の前に浮かんでくる、というもの。

今日の出版物でいえば映画のスチール写真とストーリーとをセットにしたパンフレットのごときものである。

更に元禄十二年(一六九九)には『役者口三味線』という役者評判記を刊行する。役者評判記といふのは歌舞伎役者の芸や姿容の評議として出版された『自笑集』というお家騒動風の浮世草子の自序には『僕(やつがれ)若かりしより狂言語を草紙にあやなめることもいたづき、多くは其笑に物好きして書せしに、

発展したのであるが、元禄十四年八月『けいせい色三味線』という手の小説類の出版と手を携げる。『色三味線』は江島其磧の著作。其磧は八文字屋とは程近い万里小路通り椎屋町に住む、金持の子であるが、八文字屋の墓として現

その先祖は大仏餅の餅屋が当つて大金持になったという人である。

『色三味線』は五巻で、その形態は役者評判記に模したもので、また、各巻の巻頭には京都の島原をはじめとして大阪の新町、江戸の吉原以下諸国のお遊女、また揚代その他を掲げ、遊里のガイドブックを兼ねさせている、というアイデアを見せている。内容は短篇の風俗小説集で、その巻の一の第一話のストーリーを掲げておこう。

『花の下紐ながと短かと』

京都、五条あたりの安筆屋、表辻伊勢之助という、今は謡曲の師匠になつてゐる男が、町で傾城買

いの人形送りの一群に出会う。これは近頃、この町内で傾城狂いが流行つて、町内ほとんどの家がこれによつて衰える。よつてこの町

内から、風の神送りを真似て、傾城買ひの靈を送ろうというので、やつてゐるのだといふ。伊勢之助、

心に働き、かせぎ、再び都に立帰り、借金を全済して、富貴の家と

源は江戸店に下り、五年の間一

たといつた批評をうけても仕方の

源という、銀一千貫以上を持つている分限者で、まことに、しかし男が居るので、この男の門口にこれを捨置いて傾城買ひの靈を源に乘移らせ、傾城狂いさせて彼が身代をつぶさせてやろうという悪鬼胆であった。

人形を源の門口に捨てておくと、人形に籠りし傾城買ひの生靈、源にのりうつって、案の定、源はたちまち島原通り。奥州という太夫になじむ。奥州は、ところが、他の客に請出される。そこで次は長門という太夫の客となり、いつしか、よくよく考へると、財産がなくなつたのだから、このままでは家を分散せねばならなくなつた。その時、源ははつと正気に戻つた。しかし、源ははつと正気に戻つた。源は江戸店に下り、五年の間一

たといつた批評をうけても仕方の

源という、銀一千貫以上を持つている分限者で、まことに、しかし男が居るので、この男の門口にこれを捨置いて傾城買ひの靈を源に乘移らせ、傾城狂いさせて彼が身代をつぶさせてやろうという悪鬼胆であった。

浮世草子の模倣・剽窃がいたる所に見られ、其磧は西鶴本のアレンジメントしなおし的な小説を作つたといつた批評をうけても仕方の

源という、銀一千貫以上を持つている分限者で、まことに、しかし男が居るので、この男の門口にこれを捨置いて傾城買ひの靈を源に乘移らせ、傾城狂いさせて彼が身代をつぶさせてやろうという悪鬼胆であった。



上下とも『けいせい色三味線』卷1の1 插絵

女はもとより、『西鶴置土産』・『西鶴織留』・『好色盛衰記』・『好色三代男』・『枕久一世の物語』・『万の文反古』・『西鶴俗づれづれ』・『日本水代藏』・『嵐無常物語』・『懐覗』など広範囲にわたる。其頃は西鶴の愛読者であつたわけである。前掲の一話にしても風の神送りは『二代男』卷七の二に見える島原の揚屋町を廻る風の神送りにピントを得たと思われている。

浮世草子という小説のジャンルは井原西鶴が大阪で創めて、西鶴以後も大阪には西沢一風というすぐれた作者が出たものの、其頃を擁した八文字屋が次々とベストセラーを打出したために、遂にその出版の中心が京都に移ってしまつたのである。小説史における八文

字屋本の時代である。
八文字屋は白笑の後は其笑・瑞笑(二代目自笑・李秀・白露)と家を継ぎ、その頃には和学者として当時名の高かつた多田南嶺に浮城主(凌雲)が継いだが、この代になつて、その浮世草子の板木を大阪の升屋大蔵という本屋に売却した。八文字屋本は明和四年正月から升屋で重刷されることになったのである。この素玉は蕪村の橋本経亮という和学者から聞いた話の中に、「その京都に南嶺といふ人ありて、いろいろの戯作をあらはし、自笑作として出版しきり」(『闇遊漫録』)とある。なお、八文字屋本の挿絵に西川裕信描く艶治な男女の姿のあるも魅力であった。其笑は寛延三年八月没。

瑞笑は明和三年十一月没。
瑞笑のあとは二代目白笑を承しと続く。このシリーズは今日でも演劇史研究には必備の文献として重宝なものである(翻刻『日本庶民文化史料集成』6歌舞伎)

『役者大全』も多田南嶺の作で京都町奉行所の手力をしていた神

澤杜口の『翁草』に、
「……故に書林よりも札を篤く

して、かりそめの物をも(南嶺へ頼む)。役者大全などと云ふ

もの、特に過分の礼謝せし様に承りぬ。(卷一〇五)

とあり、南嶺の書いたものはよく売れるので、八文字屋はかなりの原稿料を払つてこの書を彼に書いてもらつたらしい。

素玉は天明初年に東洞院一条上る町に店を移し、また、東洞院通り錦小路上る町に天明六年以前に移つた。しかし、天明八年正月に京都大火があり、この時にこの店は類焼し、素玉は大阪へ下つた。大阪でも出版は続けており、瀧沢馬琴も三十六歳の時に彼を訪問している。心齋橋筋安堂寺町の横町に住んでいたという。文化九年には又、京都に帰つた。素玉は文化十二年六月没。享年は七十八歳であつた。

さて、八文字屋は『古今役者大全』に始まる一連の歌舞伎百科辞典というべき劇書をも刊行している。『役者大全』は寛延三年(一七五〇)刊、『歌舞伎事始』・『新刻役者

参考文献
長谷川強著『浮世草子の研究』
『日本庶民文化史料集成』6歌舞伎「概説」

者綱目』『役者大全』(安永二年刊)
と続く。このシリーズは今日でも

演劇史研究には必備の文献として重宝なものである(翻刻『日本庶民文化史料集成』6歌舞伎)

『役者大全』も多田南嶺の作で京都町奉行所の手力をしていた神

澤杜口の『翁草』に、
「……故に書林よりも札を篤く

古書研勉強会

—新再販制度と古本屋—

出版物の再販制度（定価販売）が一部手直しされ、十月一日より新刊本でも値引販売が出来るようになつた。古本屋にとっても対岸の火事とのんびりしているわけにもゆかない。

そこで九月の古書研勉強会ではこの新制度の正体を見極め、古書業界にどのような影響があるかを探つてみた。講師として京都新刊書店組合役員、再販維持委員であり、同時に京都古書組合の事業部長で、新刊書店、古書店の両方に曉通しておられる堀田慶三郎氏を囲んで質問を重ねた。

——まず「再販」という言葉の定義は？

堀田 正確に言うと「再販売価格維持制度」で書籍については公取委より独禁法除外品として認められています。やさしく言えば「定価販売維持制度」です。

——そこで十月一日より実施された「新再販制度」は従来の再販制度とどう変わったのですか。

堀田 変つたのは「十月一日以降発行される出版物（本、雑誌）に（定価）の表示のないものは、非再販品として値引販売してもよい」ということになりました。従つて「定価」の表示あるもの、あるいは無表示でも九月三十日以前に発行されたものは値引の対象になりません。

「部分再販」と「時限再販」

小売書店との間には「再販売価格維持契約」を改めて締結し、その罰則も強化されました。だから非再販品が従来の新刊流通ルートで新刊書店に出まわることはないでしよう。

非再販品に手を出しかねる新刊屋

——それでは新刊書店で値引販売しようとするなら別ルートから非再販品を仕入れねばなりませんね。

堀田 そうです。大取次の他に、今までゾッキ本（見切本）などを古書店に流していた第二取次が、非再販品を扱うことになるでしょう。但し買取り制ですよ。

——するといよいよ古本屋の登場ですね（笑）。そこで新刊書店のルートはともあれ、誕生してきた非再販品を扱えるかどうかをもうすこし探ってみましょう。

堀田 新刊書店というのは、ほどんどが出版社からの委託販売です。

堀田 売れなければ返せばいいのだから在庫の危険負担がない。従つて買取り制の非再販品は値下げ販売の日玉商品になつたとしても、売れ残りのリスクを考えると手を出さないでしょ。

堀田 出版社が独自に決めます。

——非再販品になつた出版物も、再販品と同じ流通ルートで新刊書店に出てくるわけですね。

堀田 いや、大手の取次（日販、東販など）は非再販品は扱わないと言っていますし、取次と新刊

書の流通はストップしてしまう。委託だからこそ売れるか売れぬかわらぬ本でも十冊二十冊と店に置けるわけです。これが買い取りもぎりぎりに絞るでしょう。そうなれば今以上にほしい本が手に入りにくくなりますヨ。

新刊書店も古本屋と同じ様に本を見る眼力を養う時代！

——それに売れる本、売れぬ本など見極める力が必要でしょ。

堀田 金さえ出せば明日にでも商品の並べられる新刊書店に本を見極める力はありませんよ。どれだけ金を持っていても一朝一夕に商売をはじめぬ古本屋と比べてしまふ。

——大手の出版社が別会社の名前で非再販品を出すことも考えられますね。

堀田 そもそも以前からありました。大手出版社は出版

社の自動販売機でよいわけか（笑）。こうして聞いてみると売れ残りの危険負担の大きい買取り制の非再販品は新刊書店ではよく扱かわんわけですね。

堀田 恐らく怖くて置かないでしょう。それに新刊書店のイメージダメンを恐れますね。

——この店は安いと評判になつていいではないですか。

堀田 全品値引というならいかにもわかりませんが、部分的に、中途半端な値引では、かえつて読者を混乱させると考えられます。

——新刊書店もすべて買取り制にしたらもとと自由な販売が可能になるわけでしょうね。

堀田 そんなことをすれば、新刊書の流通はストップしてしまう。委託だからこそ売れるか売れぬか

——イメージダウンというなら出版社の方がそれを恐れるでしょう。堀田 廉売によるイメージダウンを恐れて大手出版社は絶対非再販品にしないでしょう。値引販売するぐらいなら断然した方がましだと思ってる。結局小出版社が、非再販品を生むでしょうが、先ほども言つた様に従来の流通ルートから締め出され第二取次へ流れてしまう。

値引から生じる問題点

——新刊書店のマージンの面から見て値引販売は可能ですか。

堀田 再販制度の改正で一番大きな問題になったところです。現在流通マージンは小売20%、取次10%合せて30%です。これは世界的にみてもとても低いマージンで、このままの率で値下げ競争になれば小売店はたまつものではない。

本というものは卵や野菜のように安いからといって同じものを何冊も買えるもんぢやない（笑）。また取次も代金徴収がスムーズにゆかなくなり出版社への払が悪くなる。次に来るのは新刊書の値上げといふことになつて、すこしも読者へ

大手の出版社の動向は？

のサービスにならない。

——いわゆる見せかけの定価も出でてくるわけですね。

堀田 そうなれば、それこそ公取委が出て来ますよ。

——流通ルートから見れば非再販品は古本屋に流れることになりますね。

堀田 第二取次からの買い取りリルートによるわけですから従来のゾッキ本と同様古書店に出て来ます。

小出版社などは値引してでも在庫をはかせたいと考えているところも多いわけですからこれらが非再販品となり古本屋の店頭に並ぶことになりますね。

堀田 バラエティに富む古本屋の棚

——こうして見てくると新再販売制度といつても、実際的には今までと変らぬわけですね。

堀田 はつきり言えはうです。

——変るのは古本屋の棚で、今以上にバラエティーに富んだ各小出版社の本が並ぶのではないですか。しかも値下けになつて……。

——こりやがんばなくつちや(笑)。結局非再販売品が出てきても、新刊書店に並んで値引きされることはないわけですね。



泰山鳴動して生まれた日本の新再販制度は、古書研勉強会で知つたところではなんと骨ぬき改革。そこで外国での実態はどうなのか、古書漁りにヨーロッパ、アメリカの書店を何度も訪ねて感じたことを綴つてみる。

まず歐米の新刊書店をのぞいて日につくのは、必ず「セール」のコーナーがあつて、値引の本が山と積れている。ロンドン一番のオイル書店には、階にいくつも「セール」のコーナーがあるし、パリの「ジベール書店」ではサンミッシエル通りに面した店頭を売りコート(いわゆる古本)を扱っている。

また東京の神田に似たロンドンのチャーリングクロス通りの書店街には値引本ばかり扱う小さい新刊書店が並ぶが、これはほとんど見切本(ゾッキ本)を扱っている。同じ様な雰囲気はニューヨークのグリニッジビレジの新刊書店にもみられる。

さて新刊書店のホイコットした非再販の書籍はわれわれのしっかりした眼力で選択して、読者に安くお届けできるようがんばります。

(文責前田)

堀田 いや大手小売店の実力でもって、売れ残りは出版社に引取つてもうことになるでしょう。

——なあ——んだ(全員笑)。結局新刊書店さんの書物に対する勉強不足が新再販制度を骨ぬきにしたわけですね。

堀田 新刊書店と古書店の違いは本の値段を誰がつけるかというところでしょう。出版社につけてもらうのが新刊書店であり、本の価値、売れゆきなどを本をしつかり吟味して独自に本の値段をつけるのが古本屋です。本に対する熱意がまったく違いますよ。

——さて新刊書店のホイコットした非再販の書籍はわれわれのしっかりした眼力で選択して、読者に安くお届けできるようがんばります。

(文責前田)

キクオ書店

前 田 司

ともあれ新刊書店に定価維持のことと、値引本と同居していくのも、日本的新刊書店が危惧するような「書店のイメージダウン」はみじんも感じられないし、それどころか一流書店では人気商品にすらなっている。聞けばこれらの商品はいずれも見切本や時限再販品とのこと。つまり日本の新再販制度における非再販売品にあるわけ。

それでは日本でも新刊書店の努力

と姿勢何などで欧米の新刊書店と同様の「バーゲンセール」のコーナーが出現する可能性は十分にあるといえよう。

さて欧米新刊書店のもう一つの特徴はどこもセカンドハンドブック(いわゆる古本)を扱っていることだ。勿論古本買入れも行って

いる。オランダなんぞ新刊書の棚に古本が混りこんで、分野別に陳列してある。読者にははなはだ便利至極だ。日本では古物の営業は古物営業法という法のもとにその営業は所轄の公安委員会より許可を得ねばならぬという規定がある

が、本気になれば別段その許可是むつかしくもない。新刊書店が古本ではないが、オランダでもいたりの新刊書店の営業がこのよう

に巾広いものだから、いきおい古本で出たあと、次の版からあるいは

秋の恒例古本まつり

於百万遍
11/1 ~ 11/3

(八頁へつづく)

書店はその道の専門に徹せざるを得ない。歐米では古書店は、アンティカリアン・ブックセラーと呼ばれ、新刊書店からははるか昔姿を消した、いわゆる稀観本、絶版本を扱うことになる。日本でいえば和本専門店といったところか。ニューヨークのクラウス書店を筆頭にして古書店というより骨董屋に近いところさえある。一方セカンドハンドブックに徹した古本屋もある。スケールの上で新刊書店の古本部を凌駕しようというわけである。在庫一〇〇万冊とうとうニューヨークのストランド書店や、当誌八号に松尾先生が紹介されたイギリスのヘイ・オン・ワイにあるブース書店はまさに世界一の古本の山であった。

さてこうしてみると、舶来好きな日本ゆえ、いずれ近い将来歐米のこのような書籍販売の形態が日本にやってくる。今回の新再販制度など、その第一波と言えよう。まずは新刊店に打ち寄せた波はすでに古書店にもその余波が及んできた。今後こうした波に一番変化をせられるのは新刊書店よりも我々古書店であることを一時も早く自覚し、新しい古書店を目指して経営努力を払わねばならない。

書店はその道の専門に徹せざるを得ない。歐米では古書店は、アンティカリアン・ブックセラーと呼ばれる、新刊書店からははるか昔姿を消した、いわゆる稀観本、絶版本を扱うことになる。日本でいえば和本専門店といったところか。ニューヨークのクラウス書店を筆頭にして古書店といふより骨董屋に近いところさえある。一方セカンドハンドブックに徹した古本屋もある。スケールの上で新刊書店の古本部を凌駕しようというわけである。在庫一〇〇万冊とうとうニューヨークのストランド書店や、当誌八号に松尾先生が紹介されたイギリスのヘイ・オン・ワイにあるブース書店はまさに世界一の古本の山であった。

ニューヨークのアルゴシイ書店は一階は稀観書、二階は古本の山だ。両者をうまく併営している古書店だ。

さてこうしてみると、舶来好きな日本ゆえ、いずれ近い将来歐米のこのような書籍販売の形態が日本にやってくる。今回の新再販制度など、その第一波と言えよう。まずは新刊店に打ち寄せた波はすでに古書店にもその余波が及んできた。今後こうした波に一番変化をせられるのは新刊書店よりも我々古書店であることを一時も早く自覚し、新しい古書店を目指して経営努力を払わねばならない。

秋の恒例



京都・百万遍

[主催] 京都古書研究会
・京都市内古書店22店加盟・

古本まつり

【催物】

11月1日・2日・3日(土)

・午前9時30分～午後4時

京都・百万遍・知恩寺〈境内参道〉

・市バス百万遍下車

◆ ◆ ◆ ◆
11月1日(土) 午前9時30分～
知恩寺本堂にて古本供養
チャリティーオークション

◆ ◆ ◆ ◆
入札セール
本の修理実演 etc

いんふおめーしょん

第十一号は

■編集スタッフ
来年一月二十日
発行予定です。

第四十七回(開店六十周年記念)
京都近鉄古書籍即売会の御案内
十月二十四日(金)～十月二十九日(木)

編集長 藤井 俊一
中村 勝一
竹山 勝一
森下正三郎
中村岡忠郎
沢田英正
弥二郎

—編集後記—

◎この小冊子も第10号を数えました。少しでも愛書家の皆様に役立ち、また、我々業者とお客様との意志の疎通を計るべく古書談論のサロンを誌上で再現するという考え方のものと発行してまいりました。今後もできるだけ頑張ってやって参りますので皆様の御支援をお願い申し上げます。

◎御多忙中の角田先生、第五号より連載いたしております宗教先生、また古本まつりにふさわしい記事を頂きました安藤先生に紙面をかり御礼申し上げます。

三密堂書店

〒600 京都市下京区寺町通伝光寺下る

〒604

京都市中京区寺町錦小路上ル

大書堂

堂

北斎画

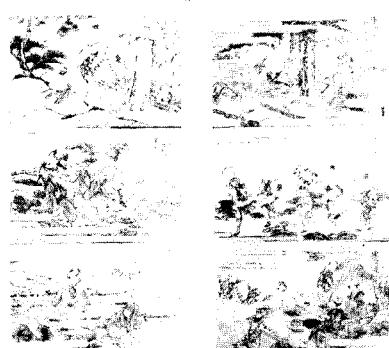
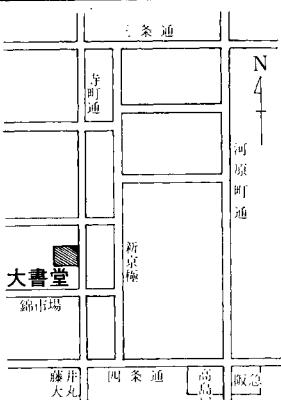
東海道五十三次
五十三枚

(全五十六図の内・三図欠)
一五〇,〇〇〇円



是非御立寄り下さいませ。

版画コーナーを拡げました



芳年
坂田公時
一〇〇〇〇円



芳年
野見宿
一〇〇〇〇円



芳年
新田義貞
一〇〇〇〇円



芳年
熊坂長範
一〇〇〇〇円

周延 德川時賞婦人之図 摘草 ￥40,000円

御注文は各書店へ

〒633 京都市北区小山下内河原町六二
古書籍 東方書店

電話〇七五四九一—一〇七

畠山慶雄

大15

大15</p

文藻堂

〒604 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル 振替 京都22087
電話 (075-231-1914)4 佛洲仙英筆龍字 紙二段装本紙巾30×103
桐箱入極美一幅五〇、〇〇〇〇3 龍門禪智筆一行書幅
紙装本紙巾29×111
本紙折有桐箱入一幅六〇、〇〇〇〇白芸断處家山妙
対揚老人通應作花押

- 1 通応宗徹筆富士山贊幅 紙三段装本紙巾56×31 新表
大阪少林寺横山幽石師稿書(近世禪林墨跡揭載品)
通応宗徹(1801~1854) 臨濟宗
対揚老人ノ別称アリ尾張清洲ノ人
下野東光寺、遠江大通院三住ヌ。
¥85,000

忍一字至妙門

(雲開列遠山)

5 佛海天龍筆龍字大幅 紗袋装本紙巾55×121
杉箱入一幅七〇、〇〇〇〇

- 2 虎巣俊嘯筆忍字贊幅 紙三段装本紙巾45.7×31.5 ウブ
表装傷ミ有桐箱入¥60,000

虎巣俊嘯(1784~1851) 曹洞宗
越後人、文政5年京都山城源庵ヲ創ス、後諸寺ヲ
歴住シ嘉永元年加賀大乗寺57世トナル。

6 大徳寺大綱和尚筆詩短冊 昨夢ハ別号
54才時ノ書美三五、〇〇〇

七西月夜遊
夢遊富士山
千初践雲老歩勞攀蘿絕壁寒毛

千初践雲老歩勞攀蘿絕壁寒毛
千初践雲老歩勞攀蘿絕壁寒毛

7 長野義道筆和歌短冊

極美 三五、〇〇〇

千初践雲老歩勞攀蘿絕壁寒毛
千初践雲老歩勞攀蘿絕壁寒毛
千初践雲老歩勞攀蘿絕壁寒毛
千初践雲老歩勞攀蘿絕壁寒毛

8 鈴木臘筆和歌短冊
並 三〇、〇〇〇〇

春雨晴
我ならぬながめは空に晴間あれや
のきのいと水おどたゆむなり
義子

わび人の軒端うきなく郭公
猶物おもひ残させじとや
脛

かひのねゆうまく能ひ
ねゆうまく能ひ
かひのねゆうまく能ひ
ねゆうまく能ひ

9 出中大秀筆和歌短冊

美 八、〇〇〇〇

咲初て千世は絶しかと秋毎の
にほひ不変菊のはなかな
大秀



八木書店古書部

〒601 中京区丸太町通千本西入南側

電話（〇七五）八一三三八九〇

- | | | |
|------------------------------|---------------|----|
| 無產政党論 | 蟻山政道編 | 昭5 |
| 防長選考上編 | 蟻山政道編 | 昭5 |
| 和洋四季草花培養法 | 原田東一郎 | 昭5 |
| 谷村秋村翁追憶錄 | 石川県立図書館内編纂会 | 昭5 |
| 国語と国文学特輯詩歌研究号 | 東大藤村作編 | 昭5 |
| 心用家事精義第一卷 | 東京高師大江スミ子 | 昭5 |
| 新訛絵本西遊記 | 小杉木醒吾著背傷初版 | 昭5 |
| ジャドン伝(東洋伝の開拓者)佐藤誠訛初版背傷大 | 昭5 | |
| 夏目漱石 正統2冊 | 森田草平 背傷 | 昭5 |
| 日々聖観 | 梶康郎 | 昭5 |
| 新興川柳 影像合本製本昭4年1月~11月 | 広島市刊 | 昭5 |
| 日本帝國文部省第47年版大8~9 | 大日本文書課 | 昭5 |
| 天下茶屋 | 塚原満柿 初版 | 昭5 |
| 水野越前守 | 塚原満柿 初版 | 昭5 |
| 明治天皇御製譲解 渡辺三郎 | 明治天皇御製譲解 渡辺三郎 | 昭5 |
| 教師教育の成立と發展 三好信浩 | 明治天皇御製譲解 渡辺三郎 | 昭5 |
| 稻荷社史料第7輯享保~明治 | 明治天皇御製譲解 渡辺三郎 | 昭5 |
| 徒行伝 式註記 | 明治天皇御製譲解 渡辺三郎 | 昭5 |
| 布哇歴史 | 渡辺七郎 | 昭5 |
| 西洋芝居上座 | 浜田謙 初版 | 昭5 |
| 性相学精義 | 坪内士行 初版 | 昭5 |
| 京舞井上流歌集 | 井上琢 初版 | 昭5 |
| 盛岡農業創立25周年記念論叢 | 銅版 | 昭5 |
| 死の勝利(薔薇小説ダンナン才子右川訳) | 銅版 | 昭5 |
| 雄辨辞典(式辞と演説)大日本雄辨学会編 | 銅版 | 昭5 |
| 新々数学 | 金沢鉛木文茂合著 写本 | 昭5 |
| 花道聰松庵筆 甲州御流伝書 四本一括 | 昭5 | |
| 南画一覽 一紙 銅版 大国有誠編 | 昭5 | |
| 創刊号年約2年生 昭32各冊 | 大正末年 | 昭5 |
| 創刊号年約2年生 昭32各冊 | 昭5 | |
| 創刊号幼稚園えほんよい子幼稚園 もしも2年生 昭28各冊 | 昭5 | |
| 創刊号季刊英文学昭38 原文昭17 翻本昭15 | 昭5 | |
| 創刊号断層昭11 日朝評論昭21 防人昭19 | 各冊 | 昭5 |
| 創刊号東北昭3 原文昭12 月刊文章講座昭10 | 各冊 | 昭5 |
| 教育寓話 美徳悪徳2冊 大村仁太郎 | 各冊 | 昭5 |
| 北京年中行事 | 北京加藤新吉 | 昭5 |
| 近古史談 | 慶應4年 | 昭5 |

- | | | | |
|------------------------|----------------|---------------------|--------------------------|
| 和歌古の山文 | 2冊揃 | 蹕屋編 | 明 17
天吾
二、吾
一、吾 |
| 陽明哲学 | 声色選集附俳優明覽 | 正東東教治 | 明 41
六、四
八、四 |
| 又子附問答 | 場幕同好会編掌中版 | 写本 | 明 26
六、四 |
| 円福寺住職兄性宗般筆妙心寺宛資料一括 | 銅版 | 安政 3
明 41
八、四 | |
| 増補冠辞例 | 横小本 | 天保 5
明 19
五、四 | |
| 雅言要解歌学作法指南 | 川上文彦奥付欠 | 明治版 | 明 20
五、四 |
| 絵入都々逸 | サワリ人 | 横小本 | 江戸末
吾
吾 |
| 類題和歌鶴川集上中下3冊 | 小本長沢伴雄 | 明 27
五、四 | |
| 絵入新製五日都々逸 | 汚 | 江戸末刊
五、四 | |
| 今古々々文庫 | 39号と48号 | 四冊 | 明 19
五、四 |
| 工業図式 | 浅井木吉 | 銅版 | 明 25
五、四 |
| 後藤義次 | 横谷家系 | 奈良家系 | 文政 12
五、四 |
| 山路の露 | 糸岡(源氏物語) | 江戸末刊
五、四 | |
| 東京市全圖里程町名早わかり附 | 横浜 | 大 9
五、四 | |
| 弘道叢書第3輯(政治山北東陵諸説辨)外 | 明 19
五、四 | | |
| 王崩公絶句 | 柳湾校閲 | 四冊揃掌中版 | 天保 7
五、四 |
| 古裂鑑 | 実物古裂百数十点ばかり付帳 | 明元
吾
吾 | |
| 京鶴上鶴線に関する報告書 | 一通 | 明 21
五、四 | |
| 神珍御規則集覽 | 卷一、二 | 2冊小本 | 明 7・8
五、四 |
| 水戸藩藤田主膳(泰行)外藩勤王幕資本資料一袋 | 明 20
五、四 | | |
| 唐詩合選詳解 | 6冊摘飼先生註釈 | 光諸版 | 明 20
五、四 |
| 御菓子の包装紙并山米一袋 | 明 15
五、四 | | |
| 肥後國阿蘇山硫黃にて去年3月も鳴動届出一通 | 江戸末
八、四 | | |
| 増補大成正誤假名遺 | 加茂季應撰 | 横小本 | 明 9
天吾
一、吾 |
| 非藏人惣次第北面 | (右高年令) | 文久
三、四 | |
| 心学者良桂翁62才肖像画 | 絹本一幅 | 文化 5
合
四 | |
| エメンタラリスハーリングブック米国銅版 | 文化 5
合
四 | | |
| 心学者良桂翁62才肖像画 | 絹本一幅 | 文安 2
吾
吾 | |
| 座主相公書(金剛伝子貞忠筆) | 江戸末
五、四 | | |
| よしこの京の花 | 大永 4
吾
吾 | | |
| 光明真言頤文状 | 一卷 | 筆者源友加
利引算草見表 | 明 10
三、四
吾
吾 |
| 三条実美公筆 | 大和魂之歌 | 短冊一冊 | 吾
吾
吾 |
| 利引算草見表 | 出雲國福葉善十郎著出版人 | 大 8
天
吾
吾 | |
| 長谷素仙筆 | 元禄美人図絹本一幅其箱 | 大 8
天
吾
吾 | |
| 黄檗宗 | 即非如一筆 | 龟玉珠賛一幅 | 傷み |

御注文は各書店へ

下 607

京都市山科区大宅五反畠町3

目録屋 崎 書 店

1 古事記新講 次田潤 明治書院 A5 昭3	電話(075)591-1491
2 古事記・日本書記研究 次田潤 (高橋研究会編) 新潮文庫 昭11-3	振替 京都 一、八、三、六
3 古事記の新しい見方 (高橋研究会編) 国文学解説と鑑賞 岩波文庫 昭29	電話(075)591-1491
4 調査日本書紀 上中下 (高橋研究会編) 国文学解説と鑑賞 岩波文庫 昭11-3	古事記の新しい見方 (高橋研究会編) 国文学解説と鑑賞 岩波文庫 昭29
5 古代歌謡 実方清 (弘文堂) 昭44	古今和歌集評釈 金子元臣 (明治書院) A5 昭44
6 日本歌謡の世界 実方清 (弘文堂) A5 昭44	萬葉集大辞典 (学習院日本古典全集刊行会) B5 昭44
7 古今和歌集評釈 金子元臣 (明治書院) A5 昭44	萬葉集大辞典 (学習院日本古典全集刊行会) B5 昭44
8 大鏡詳解 (全) 小中村義文 (弘文堂) 昭44	大鏡詳解 (全) 小中村義文 (弘文堂) 昭44
9 军記物語の母胎と環境 (伊藤道研究会編) 明治書院 A5 昭44	軍記物語の母胎と環境 (伊藤道研究会編) 明治書院 A5 昭44
10 平家物語の史実と文学 (国文学解説と鑑賞) 岩波文庫 昭44	平家物語の史実と文学 (国文学解説と鑑賞) 岩波文庫 昭44
11 西鶴全集(全) 関崎書店 川田順 (国文学解説と鑑賞) 岩波文庫 昭44	西鶴全集(全) 関崎書店 川田順 (国文学解説と鑑賞) 岩波文庫 昭44
12 馬琴日記録 猪野謙一 (文會堂) B6 昭44	馬琴日記録 猪野謙一 (文會堂) B6 昭44
13 西鶴・島崎藤村 (大阪大名著文庫) 角川 B6 昭44	西鶴・島崎藤村 (大阪大名著文庫) 角川 B6 昭44
14 江戸頃廢期文学 (伊藤道研究会編) 明治書院 A5 昭44	江戸頃廢期文学 (伊藤道研究会編) 明治書院 A5 昭44
15 西行研究録 (伊藤道研究会編) 創元選書 昭44	西行研究録 (伊藤道研究会編) 創元選書 昭44
16 饗文堂 (菊版) 文會堂 B6 昭44	西田幾太郎全集 (岩波文庫) B6 昭44
17 島崎藤村研究 (風呂井伸明著) 角川 B6 昭44	島崎藤村研究 (風呂井伸明著) 角川 B6 昭44
18 木曾藤村旅行 (朝日新聞社) 角川 B6 昭44	木曾藤村旅行 (朝日新聞社) 角川 B6 昭44
19 島崎藤村研究 (角川書店) 川田順 (国文学解説と鑑賞) 岩波文庫 昭44	島崎藤村研究 (角川書店) 川田順 (国文学解説と鑑賞) 岩波文庫 昭44
20 漱石のシエイクスピア (角川書店) A5 昭44	漱石のシエイクスピア (角川書店) A5 昭44
21 漱石・漢詩研究 (角川書店) A5 昭44	漱石・漢詩研究 (角川書店) A5 昭44
22 和田利男 人文書院 B6 昭44	和田利男 人文書院 B6 昭44
23 芥川龍之介 (角川書店) A5 昭44	芥川龍之介 (角川書店) A5 昭44
24 二人の友 (太宰治ほか) 小山清 審美社 B6 昭44	二人の友 (太宰治ほか) 小山清 審美社 B6 昭44
25 太宰治研究 (角川書店) A5 昭44	太宰治研究 (角川書店) A5 昭44
26 桶川一葉 (角川書店) A5 昭44	桶川一葉 (角川書店) A5 昭44
27 中原中也研究 (角川書店) A5 昭44	中原中也研究 (角川書店) A5 昭44
28 小川和佑 (セントラル百科社) A5 昭44	小川和佑 (セントラル百科社) A5 昭44
29 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 昭44	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 昭44
30 二人の友 (太宰治ほか) 小山清 審美社 B6 昭44	二人の友 (太宰治ほか) 小山清 審美社 B6 昭44
31 太宰治研究 (角川書店) A5 昭44	太宰治研究 (角川書店) A5 昭44
32 桶川一葉 (角川書店) A5 昭44	桶川一葉 (角川書店) A5 昭44
33 中原中也研究 (角川書店) A5 昭44	中原中也研究 (角川書店) A5 昭44
34 猪野謙二 ユリイカ 青土社 岩波書店 昭44	猪野謙二 ユリイカ 青土社 岩波書店 昭44
35 德川時代警察沿革史 (岩波文庫) B6 昭44	德川時代警察沿革史 (岩波文庫) B6 昭44
36 英文法に於ける海上保險の解説 (英文法に於ける海上保險の解説) 岩波文庫 B6 昭44	英文法に於ける海上保險の解説 (英文法に於ける海上保險の解説) 岩波文庫 B6 昭44
37 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 昭44	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 昭44
38 未来社 71 70 69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34	未来社 71 70 69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34
39 哲學講話 得能文 第一書房 A5 昭5	哲学講話 得能文 第一書房 A5 昭5
40 坂田徳男譯 松水材 岩波書店 A5 昭23	坂田徳男譯 松水材 岩波書店 A5 昭23
41 カントの道徳哲学 (岩本俊馬著) 岩波書店 A5 昭5	カントの道徳哲学 (岩本俊馬著) 岩波書店 A5 昭5
42 カント研究 (宮本利吉) 岩波書店 A5 昭22	カント研究 (宮本利吉) 岩波書店 A5 昭22
43 カントと現代の哲学 (桑木敏翼) 岩波書店 A5 昭5	カントと現代の哲学 (桑木敏翼) 岩波書店 A5 昭5
44 新訂カントの哲学 (岩波書店) 岩波書店 A5 昭44	新訂カントの哲学 (岩波書店) 岩波書店 A5 昭44
45 大鏡 (岩波書店) 岩波書店 A5 昭53	大鏡 (岩波書店) 岩波書店 A5 昭53
46 ルーベンス (モチキホードン) 岩波書店 A5 昭5	ルーベンス (モチキホードン) 岩波書店 A5 昭5
47 風景画の進路 (鍋井克之) 文庫堂 A5 昭5	風景画の進路 (鍋井克之) 文庫堂 A5 昭5
48 新しき風景画の進路 (鍋井克之) 文庫堂 A5 昭5	新しき風景画の進路 (鍋井克之) 文庫堂 A5 昭5
49 鋼筆ドーバリ (モーリス) 東京出版 A5 昭5	鋼筆ドーバリ (モーリス) 東京出版 A5 昭5
50 三人の臣臣 (ケルダンシヨリコ) 時事通信 A5 昭5	三人の臣臣 (ケルダンシヨリコ) 時事通信 A5 昭5
51 風景論 (リルケ全集第V) 二章書房 A5 昭5	風景論 (リルケ全集第V) 二章書房 A5 昭5
52 よみがえる名画のため (黒川光彦著) 美術出版社 A5 昭5	よみがえる名画のため (黒川光彦著) 美術出版社 A5 昭5
53 藤原武大譯 (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	藤原武大譯 (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
54 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
55 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
56 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
57 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
58 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
59 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
60 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
61 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
62 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
63 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
64 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
65 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
66 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
67 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
68 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
69 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
70 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
71 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
72 フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44	フィルム (篠原武大譯) 岩波書店 A5 昭44
73 THE PAINTER'S METHODS & MATERIALS PROF. A. LAURIE	THE PAINTER'S METHODS & MATERIALS PROF. A. LAURIE
74 美術新論 (ゴロー研究) 美術新論社	美術新論 (ゴロー研究) 美術新論社
75 ヴォアアル 東京堂 A5 昭5	ヴォアアル 東京堂 A5 昭5
76 春鳥會 A6 昭5	春鳥會 A6 昭5
77 春鳥會 A6 昭5	春鳥會 A6 昭5
78 春鳥會 A6 昭5	春鳥會 A6 昭5
79 春鳥會 A6 昭5	春鳥會 A6 昭5
80 新世絵叢聚 村上次義 上居次義 創元社 A5 昭5	新世絵叢聚 村上次義 上居次義 創元社 A5 昭5
81 セザンヌ 創元社 A5 昭5	セザンヌ 創元社 A5 昭5
82 モロヴィオチエー 創元社 A5 昭5	モロヴィオチエー 創元社 A5 昭5
83 西田哲学 村上憲司 創元社 A5 昭5	西田哲学 村上憲司 創元社 A5 昭5
84 花鳥画の描方 荒木トウジ 創元社 A5 昭5	花鳥画の描方 荒木トウジ 創元社 A5 昭5
85 美術研究 (新編) 第九回 美術研究 (新編) 第九回 創元社 A5 昭5	美術研究 (新編) 第九回 美術研究 (新編) 第九回 創元社 A5 昭5
86 安舟曾太郎素描集 (岩波文庫) 岩波書店 A5 昭5	安舟曾太郎素描集 (岩波文庫) 岩波書店 A5 昭5
87 芸術の無限観 中村輝 創元社 A5 昭5	芸術の無限観 中村輝 創元社 A5 昭5
88 花鳥画の描方 荒木トウジ 創元社 A5 昭5	花鳥画の描方 荒木トウジ 創元社 A5 昭5
89 安舟曾太郎素描集 (岩波文庫) 岩波書店 A5 昭5	安舟曾太郎素描集 (岩波文庫) 岩波書店 A5 昭5
90 芸術の無限観 中村輝 創元社 A5 昭5	芸術の無限観 中村輝 創元社 A5 昭5
91 美術研究 (新編) 第九回 美術研究 (新編) 第九回 創元社 A5 昭5	美術研究 (新編) 第九回 美術研究 (新編) 第九回 創元社 A5 昭5
92 浮世絵辞典 (吉川弘文館) 吉川弘文館 A4 4昭48	浮世絵辞典 (吉川弘文館) 吉川弘文館 A4 4昭48
93 春信 清長寫築論 (野良子著) 岩波書店 A5 4昭48	春信 清長寫築論 (野良子著) 岩波書店 A5 4昭48
94 春鳥會 A6 4昭48	春鳥會 A6 4昭48
95 春鳥會 A6 4昭48	春鳥會 A6 4昭48
96 春鳥會 A6 4昭48	春鳥會 A6 4昭48
97 春鳥會 A6 4昭48	春鳥會 A6 4昭48
98 春鳥會 A6 4昭48	春鳥會 A6 4昭48
99 春鳥會 A6 4昭48	春鳥會 A6 4昭48
100 春鳥會 A6 4昭48	春鳥會 A6 4昭48
101 春鳥會 A6 4昭48	春鳥會 A6 4昭48
102 春鳥會 A6 4昭48	春鳥會 A6 4昭48
103 我が水彩 石井相亭 志功 創元社 A5 4昭48	我が水彩 石井相亭 志功 創元社 A5 4昭48
104 京都の古建築 藤原公義一 創元社 A5 4昭48	京都の古建築 藤原公義一 創元社 A5 4昭48
105 著者別書目録 (岩波文庫) 岩波書店 A5 4昭48	著者別書目録 (岩波文庫) 岩波書店 A5 4昭48
106 日本文化研究 (いしる) 桑名文星堂 創元社 A5 4昭48	日本文化研究 (いしる) 桑名文星堂 創元社 A5 4昭48
107 茶碗 大河内正敏 雄山閣 創元社 A5 4昭48	茶碗 大河内正敏 雄山閣 創元社 A5 4昭48
108 希臘羅馬演劇史 (限定版) あばらん社 東京堂 創元社 A5 4昭48	希臘羅馬演劇史 (限定版) あばらん社 東京堂 創元社 A5 4昭48
109 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
110 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
111 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
112 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
113 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
114 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
115 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
116 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
117 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
118 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
119 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
120 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
121 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
122 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
123 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
124 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
125 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
126 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
127 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
128 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
129 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
130 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
131 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
132 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
133 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
134 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
135 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
136 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
137 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
138 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
139 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
140 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
141 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
142 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
143 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
144 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
145 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
146 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
147 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
148 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
149 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
150 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
151 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
152 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
153 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
154 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
155 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
156 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
157 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
158 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
159 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
160 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
161 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
162 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
163 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
164 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
165 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
166 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
167 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
168 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
169 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
170 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
171 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
172 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
173 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
174 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
175 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
176 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
177 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
178 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
179 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
180 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
181 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
182 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
183 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
184 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48
185 明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5 4昭48	明治維新史研究 (坂田吉雄) 岩波書店 A5

〒606 京都市左京区淨土寺西田町八十一ノ四
法律・経済・思想・書竹岡店

電話(〇七五)七六一四四五
振替京都四二六一二二四

1 フックス風俗の歴史	安田徳太郎著	昭9
2 日本古代史の旅	小学館	昭8
3 戦乱日本の歴史	小学館	昭12
4 新編 物語藩史	昭12	昭52
5 講座 世界歴史	岩波書店	昭31
6 同時代史	三毛雪嶺	昭6
7 大東亜戦争全史	昭28	昭47
8 秘録 大東亜戦争史	富士書苑	昭12
9 福澤諭吉全集	岩波書店	昭31
10 三木清全集	岩波書店	昭19
11 西園寺と政局	原田熊雄著	昭9
12 グラムシ選集	昭6	昭42
13 毛沢東の悲劇	柴田穂	昭5
14 ブルターチ英雄伝	鶴見祐輔	昭6
15 史傳 デスレリ	昭5	昭54
16 発明物語	池田宣政	昭2
17 福翁自傳(少痛)	奥村毅	昭54
18 生きる豊田佐吉	時事新報社	昭3
19 幕末・亨リ・フォード	鶴見祐輔	昭54
20 自動車販売王神谷正太郎伝	尾崎政久	昭21
21 日本の自動車トヨタ自動車	熊本啓作	昭22
22 健い科学者	石原純	昭21
23 ニューギニア	昭20	昭46
24 佛領印度支那	南進社	昭17
25 タイ国	南進叢書 分売	昭17
26 ビルマ	南進社	昭17
27 馬来及昭南島	南進社	昭17
28 インド	南進社	昭17
29 比島戦記	南進社	昭17
30 比島派遣軍報道部	南進社	昭17
31 昭17	昭17	昭17
32 昭17	昭17	昭17
33 昭17	昭17	昭17
34 昭17	昭17	昭17
35 昭17	昭17	昭17
36 昭17	昭17	昭17
37 昭17	昭17	昭17
38 昭17	昭17	昭17
39 昭17	昭17	昭17
40 昭17	昭17	昭17
41 昭17	昭17	昭17
42 昭17	昭17	昭17
43 昭17	昭17	昭17
44 昭17	昭17	昭17
45 昭17	昭17	昭17
46 昭17	昭17	昭17
47 昭17	昭17	昭17
48 昭17	昭17	昭17
49 昭17	昭17	昭17
50 昭17	昭17	昭17
51 昭17	昭17	昭17
52 昭17	昭17	昭17
53 昭17	昭17	昭17
54 昭17	昭17	昭17
55 昭17	昭17	昭17
56 昭17	昭17	昭17
57 昭17	昭17	昭17
58 昭17	昭17	昭17
59 昭17	昭17	昭17
60 昭17	昭17	昭17
61 哲学的分析	不安の研究	昭58
62 安保闘争史	――の諸問題	昭58
63 国史上の社会問題	――の基礎的試論	昭59
64 日本国憲史(大観日本文化史講書)	コントラントノク弁証法的唯物論と史的現代における哲学と論理	昭59
65 改正民法と女性の地位	――の論理	昭60
66 保育問題	――の論理	昭61
67 保育問題	――の論理	昭61
68 保育問題	――の論理	昭61
69 保育問題	――の論理	昭61
70 保育問題	――の論理	昭61
71 保育問題	――の論理	昭61
72 保育問題	――の論理	昭61
73 保育問題	――の論理	昭61
74 保育問題	――の論理	昭61
75 保育問題	――の論理	昭61
76 保育問題	――の論理	昭61
77 保育問題	――の論理	昭61
78 保育問題	――の論理	昭61
79 保育問題	――の論理	昭61
80 保育問題	――の論理	昭61
81 保育問題	――の論理	昭61
82 保育問題	――の論理	昭61
83 保育問題	――の論理	昭61
84 保育問題	――の論理	昭61
85 保育問題	――の論理	昭61
86 保育問題	――の論理	昭61
87 保育問題	――の論理	昭61
88 保育問題	――の論理	昭61
89 保育問題	――の論理	昭61
90 保育問題	――の論理	昭61
91 保育問題	――の論理	昭61
92 保育問題	――の論理	昭61
93 保育問題	――の論理	昭61
94 保育問題	――の論理	昭61
95 保育問題	――の論理	昭61
96 保育問題	――の論理	昭61
97 保育問題	――の論理	昭61
98 保育問題	――の論理	昭61
99 保育問題	――の論理	昭61
100 保育問題	――の論理	昭61
101 保育問題	――の論理	昭61
102 保育問題	――の論理	昭61
103 保育問題	――の論理	昭61
104 保育問題	――の論理	昭61
105 保育問題	――の論理	昭61
106 保育問題	――の論理	昭61
107 保育問題	――の論理	昭61
108 保育問題	――の論理	昭61
109 保育問題	――の論理	昭61
110 保育問題	――の論理	昭61
111 保育問題	――の論理	昭61
112 保育問題	――の論理	昭61
113 保育問題	――の論理	昭61
114 保育問題	――の論理	昭61
115 保育問題	――の論理	昭61
116 保育問題	――の論理	昭61
117 保育問題	――の論理	昭61
118 保育問題	――の論理	昭61
119 保育問題	――の論理	昭61
120 保育問題	――の論理	昭61
121 保育問題	――の論理	昭61
122 保育問題	――の論理	昭61
123 保育問題	――の論理	昭61
124 保育問題	――の論理	昭61
125 保育問題	――の論理	昭61
126 保育問題	――の論理	昭61
127 保育問題	――の論理	昭61
128 保育問題	――の論理	昭61
129 保育問題	――の論理	昭61
130 保育問題	――の論理	昭61
131 保育問題	――の論理	昭61
132 保育問題	――の論理	昭61
133 保育問題	――の論理	昭61
134 保育問題	――の論理	昭61
135 保育問題	――の論理	昭61
136 保育問題	――の論理	昭61
137 保育問題	――の論理	昭61
138 保育問題	――の論理	昭61
139 保育問題	――の論理	昭61
140 保育問題	――の論理	昭61
141 保育問題	――の論理	昭61
142 保育問題	――の論理	昭61
143 保育問題	――の論理	昭61
144 保育問題	――の論理	昭61
145 保育問題	――の論理	昭61
146 保育問題	――の論理	昭61
147 保育問題	――の論理	昭61
148 保育問題	――の論理	昭61
149 保育問題	――の論理	昭61
150 保育問題	――の論理	昭61
151 保育問題	――の論理	昭61
152 保育問題	――の論理	昭61
153 保育問題	――の論理	昭61
154 保育問題	――の論理	昭61
155 保育問題	――の論理	昭61
156 保育問題	――の論理	昭61
157 保育問題	――の論理	昭61
158 保育問題	――の論理	昭61
159 保育問題	――の論理	昭61
160 保育問題	――の論理	昭61
161 保育問題	――の論理	昭61
162 保育問題	――の論理	昭61
163 保育問題	――の論理	昭61
164 保育問題	――の論理	昭61
165 保育問題	――の論理	昭61
166 保育問題	――の論理	昭61
167 保育問題	――の論理	昭61
168 保育問題	――の論理	昭61
169 保育問題	――の論理	昭61
170 保育問題	――の論理	昭61
171 保育問題	――の論理	昭61
172 保育問題	――の論理	昭61
173 保育問題	――の論理	昭61
174 保育問題	――の論理	昭61
175 保育問題	――の論理	昭61
176 保育問題	――の論理	昭61
177 保育問題	――の論理	昭61
178 保育問題	――の論理	昭61
179 保育問題	――の論理	昭61
180 保育問題	――の論理	昭61
181 保育問題	――の論理	昭61
182 保育問題	――の論理	昭61
183 保育問題	――の論理	昭61
184 保育問題	――の論理	昭61
185 保育問題	――の論理	昭61
186 保育問題	――の論理	昭61
187 保育問題	――の論理	昭61
188 保育問題	――の論理	昭61
189 保育問題	――の論理	昭61
190 保育問題	――の論理	昭61
191 保育問題	――の論理	昭61
192 保育問題	――の論理	昭61
193 保育問題	――の論理	昭61
194 保育問題	――の論理	昭61
195 保育問題	――の論理	昭61
196 保育問題	――の論理	昭61
197 保育問題	――の論理	昭61
198 保育問題	――の論理	昭61
199 保育問題	――の論理	昭61
200 保育問題	――の論理	昭61
201 保育問題	――の論理	昭61
202 保育問題	――の論理	昭61
203 保育問題	――の論理	昭61
204 保育問題	――の論理	昭61
205 保育問題	――の論理	昭61
206 保育問題	――の論理	昭61
207 保育問題	――の論理	昭61
208 保育問題	――の論理	昭61
209 保育問題	――の論理	昭61
210 保育問題	――の論理	昭61
211 保育問題	――の論理	昭61
212 保育問題	――の論理	昭61
213 保育問題	――の論理	昭61
214 保育問題	――の論理	昭61
215 保育問題	――の論理	昭61
216 保育問題	――の論理	昭61
217 保育問題	――の論理	昭61
218 保育問題	――の論理	昭61
219 保育問題	――の論理	昭61
220 保育問題	――の論理	昭61
221 保育問題	――の論理	昭61
222 保育問題	――の論理	昭61
223 保育問題	――の論理	昭61
224 保育問題	――の論理	昭61
225 保育問題	――の論理	昭61
226 保育問題	――の論理	昭61
227 保育問題	――の論理	昭61
228 保育問題	――の論理	昭61
229 保育問題	――の論理	昭61
230 保育問題	――の論理	昭61
231 保育問題	――の論理	昭61
232 保育問題	――の論理	昭61
233 保育問題	――の論理	昭61
234 保育問題	――の論理	昭61
235 保育問題	――の論理	昭61
236 保育問題	――の論理	昭61
237 保育問題	――の論理	昭61
238 保育問題	――の論理	昭61
239 保育問題	――の論理	昭61
240 保育問題	――の論理	昭61
241 保育問題	――の論理	昭61
242 保育問題	――の論理	昭61
243 保育問題	――の論理	昭61
244 保育問題	――の論理	昭61
245 保育問題	――の論理	昭61
246 保育問題	――の論理	昭61
247 保育問題	――の論理	昭61
248 保育問題	――の論理	昭61
249 保育問題	――の論理	昭61
250 保育問題	――の論理	昭61
251 保育問題	――の論理	昭61
252 保育問題	――の論理	昭61
253 保育問題	――の論理	昭61
254 保育問題	――の論理	昭61
255 保育問題	――の論理	昭61
256 保育問題	――の論理	昭61
257 保育問題	――の論理	昭61
258 保育問題	――の論理	昭61
259 保育問題	――の論理	昭61
260 保育問題	――の論理	昭61
261 保育問題	――の論理	昭61
262 保育問題	――の論理	昭61
263 保育問題	――の論理	昭61
264 保育問題	――の論理	昭61
265 保育問題	――の論理	昭61
266 保育問題	――の論理	昭61
267 保育問題	――の論理	昭61
268 保育問題	――の論理	昭61
269 保育問題	――の論理	昭61
270 保育問題	――の論理	昭61
271 保育問題	――の論理	昭61
272 保育問題	――の論理	昭61
273 保育問題	――の論理	昭61
274 保育問題	――の論理	昭61
275 保育問題	――の論理	昭61
276 保育問題	――の論理	昭61
277 保育問題	――の論理	昭61
278 保育問題	――の論理	昭61
279 保育問題	――の論理	昭61
280 保育問題	――の論理	昭61
281 保育問題	――の論理	昭61
282 保育問題	――の論理	昭61
283 保育問題	――の論理	昭61
284 保育問題	――の論理	昭61
285 保育問題	――の論理	昭61
286 保育問題	――の論理	昭61
287 保育問題	――の論理	昭61
288 保育問題	――の論理	昭61
289 保育問題	――の論理	昭61
290 保育問題	――の論理	昭61
291 保育問題	――の論理	昭61
292 保育問題	――の論理	昭61
293 保育問題	――の論理	昭61
294 保育問題	――の論理	昭61
295 保育問題	――の論理	昭61
296 保育問題	――の論理	昭61
297 保育問題	――の論理	昭61
298 保育問題	――の論理	昭61
299 保育問題	――の論理	昭61
300 保育問題	――の論理	昭61
301 保育問題	――の論理	昭61
302 保育問題	――の論理	昭61
303 保育問題	――の論理	昭61
304 保育問題	――の論理	昭61
305 保育問題	――の論理	昭61
306 保育問題	――の論理	昭61
307 保育問題	――の論理	昭61
308 保育問題	――の論理	昭61
309 保育問題	――の論理	昭61
310 保育問題	――の論理	昭61
311 保育問題	――の論理	昭61
312 保育問題	――の論理	昭61
313 保育問題	――の論理	昭61
314 保育問題	――の論理	昭61
315 保育問題	――の論理	昭61
316 保育問題	――の論理	昭61
317 保育問題	――の論理	昭61
318 保育問題	――の論理	昭61
319 保育問題	――の論理	昭61
320 保育問題	――の論理	昭61
321 保育問題	――の論理	昭61
322 保育問題	――の論理	昭61
323 保育問題	――の論理	昭61
324 保育問題	――の論理	昭61
325 保育問題	――の論理	昭61
326 保育問題	――の論理	昭61
327 保育問題	――の論理	昭61
328 保育問題	――の論理	昭61
329 保育問題	――の論理	昭61
330 保育問題	――の論理	昭61
331 保育問題	――の論理	昭61
332 保育問題	――の論理	昭61
333 保育問題	――の論理	昭61
334 保育問題	――の論理	昭61
335 保育問題	――の論理	昭61
336 保育問題	――の論理	昭61
337 保育問題	――の論理	昭61
338 保育問題	――の論理	昭61
339 保育問題	――の論理	昭61
340 保育問題	――の論理	昭61
341 保育問題	――の論理	昭61
342 保育問題	――の論理	昭61
343 保育問題	――の論理	昭61
344 保育問題	――の論理	昭61
345 保育問題	――の論理	昭61
346 保育問題	――の論理	昭61
347 保育問題	――の論理	昭61
348 保育問題	――の論理	昭61
349 保育問題	――の論理	昭61
350 保育問題	――の論理	昭61
351 保育問題	――の論理	昭61
352 保育問題	――の論理	昭61
353 保育問題	――の論理	昭61
354 保育問題	――の論理	昭61
355 保育問題	――の論理	昭61
356 保育問題	――の論理	昭61
357 保育問題	――の論理	昭61
358 保育問題	――の論理	昭61
359 保育問題	――の論理	昭61
360 保育問題	――の論理	昭61
361 保育問題	――の論理	昭61

御注文は各書店へ

〒604 京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

1 茶道美術全集	1 原色版	1 国宝	1 摘12	1 每日新聞社	1 昭43	1 吾、000	1 電話(075)二二一五八六	1 振替 京都 三三二六	1 赤尾照文堂
2 日本美術全史	2 日本美術全史	2 美術出版社	2 摘6	2 美術出版社	2 昭50	2 三、000	2 隋唐の美術	2 大阪市立美術館編	2 佐和隆記
3 図説日本美術史	3 図説日本美術史	3 美術出版社	3 摘2	3 美術出版社	3 昭45	3 五、000	3 日本佛教影刻史の研究	3 毛利久法藏館	3 宗教と芸術
4 日本美術史年表	4 日本美術史年表	4 美術出版社	4 摘2	4 美術出版社	4 昭45	4 五、000	4 伝本日本料理	4 東京日日新聞	4 飲食道楽 摘4
5 大日本絵画史	5 大日本絵画史	5 美術出版社	5 摘2	5 美術出版社	5 昭45	5 六、000	5 神像影刻の研究	5 青木正兒訳	5 隋唐の美術
6 大日本絵画史の研究	6 大日本絵画史の研究	6 美術出版社	6 摘2	6 美術出版社	6 昭45	6 七、000	6 京都の石造美術	6 佐和隆記	6 京都の塔
7 上代倭絵全史	7 上代倭絵全史	7 美術出版社	7 摘2	7 美術出版社	7 昭45	7 八、000	7 運慶	7 深浦正丈	7 高崎富士彦
8 集古上種 摘2	8 集古上種 摘2	8 美術出版社	8 摘2	8 美術出版社	8 昭45	8 九、000	8 南都石仏巡礼	8 永田文昌堂	8 求龍堂
9 近代絵画史論	9 近代絵画史論	9 美術出版社	9 摘2	9 美術出版社	9 昭45	9 一〇、000	9 達磨と其諸相	9 岡直己	9 佐和隆記
10 日本美術案内	10 日本美術案内	10 美術出版社	10 摘2	10 美術出版社	10 昭45	10 一、000	10 東洋画論集成	10 幸良博物館	10 便利堂
11 美術解剖学論叢	11 美術解剖学論叢	11 美術出版社	11 摘2	11 美術出版社	11 昭45	11 二、000	11 中国画論の展開	11 角川書店	11 岩井武彦
12 日本壁画の研究	12 日本壁画の研究	12 美術出版社	12 摘2	12 美術出版社	12 昭45	12 三、000	12 支那絵画史	12 金原省吾	12 高崎富士彦
13 美の構造	13 美の構造	13 美術出版社	13 摘2	13 美術出版社	13 昭45	13 四、000	13 南宋の基礎知識	13 西村貞	13 佐和隆記
14 鉄斎研究分壳	14 鉄斎研究分壳	14 美術出版社	14 摘2	14 美術出版社	14 昭45	14 五、000	14 金工史談	14 川勝政太郎	14 高崎富士彦
15 画聖光悦	15 画聖光悦	15 美術出版社	15 摘2	15 美術出版社	15 昭45	15 六、000	15 東洋漆工史	15 木戸忠太郎	15 高崎富士彦
16 華山の研究	16 華山の研究	16 美術出版社	16 摘2	16 美術出版社	16 昭45	16 七、000	16 曲がりの梵鐘	16 角川書店	16 求龍堂
17 北大路魯山人作品図録	17 北大路魯山人作品図録	17 美術出版社	17 摘2	17 美術出版社	17 昭45	17 八、000	17 絵画研究会	17 今関寿磨	17 便利堂
18 黒田清輝日記	18 黒田清輝日記	18 美術出版社	18 摘2	18 美術出版社	18 昭45	18 九、000	18 金原省吾	18 上田朝義	18 高崎富士彦
19 鉄斎研究分壳	19 鉄斎研究分壳	19 美術出版社	19 摘2	19 美術出版社	19 昭45	19 一〇、000	19 曲がりの梵鐘	19 西村貞	19 高崎富士彦
20 萩沼貞三	20 萩沼貞三	20 美術出版社	20 摘2	20 美術出版社	20 昭45	20 一一、000	20 曲がりの梵鐘	20 木戸忠太郎	20 高崎富士彦
21 木本正弘	21 木本正弘	21 美術出版社	21 摘2	21 美術出版社	21 昭45	21 一二、000	21 曲がりの梵鐘	21 金原省吾	21 高崎富士彦
22 横内正弘	22 横内正弘	22 美術出版社	22 摘2	22 美術出版社	22 昭45	22 一三、000	22 曲がりの梵鐘	22 今関寿磨	22 高崎富士彦
23 田中重久	23 田中重久	23 美術出版社	23 摘2	23 美術出版社	23 昭45	23 一四、000	23 曲がりの梵鐘	23 上田朝義	23 高崎富士彦
24 松木示太郎	24 松木示太郎	24 美術出版社	24 摘2	24 美術出版社	24 昭45	24 一五、000	24 曲がりの梵鐘	24 今関寿磨	24 高崎富士彦
25 萩沼貞三	25 萩沼貞三	25 美術出版社	25 摘2	25 美術出版社	25 昭45	25 一六、000	25 曲がりの梵鐘	25 木戸忠太郎	25 高崎富士彦
26 金原省吾	26 金原省吾	26 美術出版社	26 摘2	26 美術出版社	26 昭45	26 一七、000	26 曲がりの梵鐘	26 金原省吾	26 高崎富士彦
27 岩波書店	27 岩波書店	27 美術出版社	27 摘2	27 美術出版社	27 昭45	27 一八、000	27 曲がりの梵鐘	27 今関寿磨	27 高崎富士彦
28 岩波書店	28 岩波書店	28 美術出版社	28 摘2	28 美術出版社	28 昭45	28 一九、000	28 曲がりの梵鐘	28 木戸忠太郎	28 高崎富士彦
29 金井紫雲	29 金井紫雲	29 美術出版社	29 摘2	29 美術出版社	29 昭45	29 二〇、000	29 曲がりの梵鐘	29 金原省吾	29 高崎富士彦
30 芦神堂	30 芦神堂	30 美術出版社	30 摘2	30 美術出版社	30 昭45	30 二一、000	30 曲がりの梵鐘	30 今関寿磨	30 高崎富士彦
31 内田実	31 内田実	31 美術出版社	31 摘2	31 美術出版社	31 昭45	31 二二、000	31 曲がりの梵鐘	31 木戸忠太郎	31 高崎富士彦
32 歌磨	32 歌磨	32 美術出版社	32 摘2	32 美術出版社	32 昭45	32 二三、000	32 曲がりの梵鐘	32 金原省吾	32 高崎富士彦
33 広重	33 広重	33 美術出版社	33 摘2	33 美術出版社	33 昭45	33 二四、000	33 曲がりの梵鐘	33 今関寿磨	33 高崎富士彦
34 余良國立博物館版	34 余良國立博物館版	34 美術出版社	34 摘2	34 美術出版社	34 昭45	34 二五、000	34 曲がりの梵鐘	34 木戸忠太郎	34 高崎富士彦
35 京焼百年の歩み	35 京焼百年の歩み	35 美術出版社	35 摘2	35 美術出版社	35 昭45	35 二六、000	35 曲がりの梵鐘	35 木戸忠太郎	35 高崎富士彦
36 日本の古印	36 日本の古印	36 美術出版社	36 摘2	36 美術出版社	36 昭45	36 二七、000	36 曲がりの梵鐘	36 木戸忠太郎	36 高崎富士彦
37 日本の酒	37 日本の酒	37 美術出版社	37 摘2	37 美術出版社	37 昭45	37 二八、000	37 曲がりの梵鐘	37 木戸忠太郎	37 高崎富士彦
38 酒藏と銘酒の巡礼	38 酒藏と銘酒の巡礼	38 美術出版社	38 摘2	38 美術出版社	38 昭45	38 二九、000	38 曲がりの梵鐘	38 木戸忠太郎	38 高崎富士彦
39 山田正一	39 山田正一	39 美術出版社	39 摘2	39 美術出版社	39 昭45	39 二一、000	39 曲がりの梵鐘	39 木戸忠太郎	39 高崎富士彦
40 四季社	40 四季社	40 美術出版社	40 摘2	40 美術出版社	40 昭45	40 二二、000	40 曲がりの梵鐘	40 木戸忠太郎	40 高崎富士彦
41 隋唐の美術	41 隋唐の美術	41 美術出版社	41 摘2	41 美術出版社	41 昭45	41 二三、000	41 曲がりの梵鐘	41 木戸忠太郎	41 高崎富士彦
42 大阪市立美術館編	42 大阪市立美術館編	42 美術出版社	42 摘2	42 美術出版社	42 昭45	42 二四、000	42 曲がりの梵鐘	42 木戸忠太郎	42 高崎富士彦
43 法藏館	43 法藏館	43 美術出版社	43 摘2	43 美術出版社	43 昭45	43 二五、000	43 曲がりの梵鐘	43 木戸忠太郎	43 高崎富士彦
44 佐和隆記	44 佐和隆記	44 美術出版社	44 摘2	44 美術出版社	44 昭45	44 二六、000	44 曲がりの梵鐘	44 木戸忠太郎	44 高崎富士彦
45 青木正兒訳	45 青木正兒訳	45 美術出版社	45 摘2	45 美術出版社	45 昭45	45 二七、000	45 曲がりの梵鐘	45 木戸忠太郎	45 高崎富士彦
46 村井弦齋	46 村井弦齋	46 美術出版社	46 摘2	46 美術出版社	46 昭45	46 二八、000	46 曲がりの梵鐘	46 木戸忠太郎	46 高崎富士彦
47 柴田書店	47 柴田書店	47 美術出版社	47 摘2	47 美術出版社	47 昭45	47 二九、000	47 曲がりの梵鐘	47 木戸忠太郎	47 高崎富士彦
48 青木文衛	48 青木文衛	48 美術出版社	48 摘2	48 美術出版社	48 昭45	48 二一〇、000	48 曲がりの梵鐘	48 木戸忠太郎	48 高崎富士彦
49 京都の塔	49 京都の塔	49 美術出版社	49 摘2	49 美術出版社	49 昭45	49 二一、000	49 曲がりの梵鐘	49 木戸忠太郎	49 高崎富士彦
50 京都の塔	50 京都の塔	50 美術出版社	50 摘2	50 美術出版社	50 昭45	50 二二、000	50 曲がりの梵鐘	50 木戸忠太郎	50 高崎富士彦
51 京都の塔	51 京都の塔	51 美術出版社	51 摘2	51 美術出版社	51 昭45	51 二三、000	51 曲がりの梵鐘	51 木戸忠太郎	51 高崎富士彦
52 京都の塔	52 京都の塔	52 美術出版社	52 摘2	52 美術出版社	52 昭45	52 二四、000	52 曲がりの梵鐘	52 木戸忠太郎	52 高崎富士彦
53 京都の塔	53 京都の塔	53 美術出版社	53 摘2	53 美術出版社	53 昭45	53 二五、000	53 曲がりの梵鐘	53 木戸忠太郎	53 高崎富士彦
54 京都の塔	54 京都の塔	54 美術出版社	54 摘2	54 美術出版社	54 昭45	54 二六、000	54 曲がりの梵鐘	54 木戸忠太郎	54 高崎富士彦
55 京都の塔	55 京都の塔	55 美術出版社	55 摘2	55 美術出版社	55 昭45	55 二七、000	55 曲がりの梵鐘	55 木戸忠太郎	55 高崎富士彦
56 京都の塔	56 京都の塔	56 美術出版社	56 摘2	56 美術出版社	56 昭45	56 二八、000	56 曲がりの梵鐘	56 木戸忠太郎	56 高崎富士彦
57 京都の塔	57 京都の塔	57 美術出版社	57 摘2	57 美術出版社	57 昭45	57 二九、000	57 曲がりの梵鐘	57 木戸忠太郎	57 高崎富士彦
58 京都の塔	58 京都の塔	58 美術出版社	58 摘2	58 美術出版社	58 昭45	58 二一〇、000	58 曲がりの梵鐘	58 木戸忠太郎	58 高崎富士彦
59 京都の塔	59 京都の塔	59 美術出版社	59 摘2	59 美術出版社	59 昭45	59 二一、000	59 曲がりの梵鐘	59 木戸忠太郎	59 高崎富士彦
60 京都の塔	60 京都の塔	60 美術出版社	60 摘2	60 美術出版社	60 昭45	60 二二、000	60 曲がりの梵鐘	60 木戸忠太郎	60 高崎富士彦
61 京都の塔	61 京都の塔	61 美術出版社	61 摘2	61 美術出版社	61 昭45	61 二三、000	61 曲がりの梵鐘	61 木戸忠太郎	61 高崎富士彦
62 京都の塔	62 京都の塔	62 美術出版社	62 摘2	62 美術出版社	62 昭45	62 二四、000	62 曲がりの梵鐘	62 木戸忠太郎	62 高崎富士彦
63 京都の塔	63 京都の塔	63 美術出版社	63 摘2	63 美術出版社	63 昭45	63 二五、000	63 曲がりの梵鐘	63 木戸忠太郎	63 高崎富士彦
64 京都の塔	64 京都の塔	64 美術出版社	64 摘2	64 美術出版社	64 昭45	64 二六、000	64 曲がりの梵鐘	64 木戸忠太郎	64 高崎富士彦
65 京都の塔	65 京都の塔	65 美術出版社	65 摘2	65 美術出版社	65 昭45	65 二七、000	65 曲がりの梵鐘	65 木戸忠太郎	65 高崎富士彦
66 京都の塔	66 京都の塔	66 美術出版社	66 摘2	66 美術出版社	66 昭45	66 二八、000	66 曲がりの梵鐘	66 木戸忠太郎	66 高崎富士彦
67 京都の塔	67 京都の塔	67 美術出版社	67 摘2	67 美術出版社	67 昭45	67 二九、000	67 曲がりの梵鐘	67 木戸忠太郎	67 高崎富士彦
68 京都の塔	68 京都の塔	68 美術出版社	68 摘2	68 美術出版社	68 昭45	68 二一〇、000	68 曲がりの梵鐘	68 木戸忠太郎	68 高崎富士彦
69 京都の塔	69 京都の塔	69 美術出版社	69 摘2	69 美術出版社	69 昭45	69 二一、000	69 曲がりの梵鐘	69 木戸忠太郎	69 高崎富士彦
70 京都の塔	70 京都の塔	70 美術出版社	70 摘2	70 美術出版社	70 昭45	70 二二、000	70 曲がりの梵鐘	70 木戸忠太郎	70 高崎富士彦
71 京都の塔	71 京都の塔	71 美術出版社	71 摘2	71 美術出版社	71 昭45	71 二三、000	71 曲がりの梵鐘	71 木戸忠太郎	71 高崎富士彦
72 京都の塔	72 京都の塔	72 美術出版社	72 摘2	72 美術出版社	72 昭45	72 二四、000	72 曲がりの梵鐘	72 木戸忠太郎	72 高崎富士彦
73 京都の塔	73 京都の塔	73 美術出版社	73 摘2	73 美術出版社	73 昭45	73 二五、000	73 曲がりの梵鐘	73 木戸忠太郎	73 高崎富士彦
74 京都の塔	74 京都の塔	74 美術出版社	74 摘2	74 美術出版社	74 昭45	74 二六、000	74 曲がりの梵鐘	74 木戸忠太郎	74 高崎富士彦
75 京都の塔	75 京都の塔	75 美術出版社	75 摘2	75 美術出版社	75 昭45	75 二七、000	75 曲がりの梵鐘	75 木戸忠太郎	75 高崎富士彦
76 隨園食單	76 隨園食單	76 美術出版社	76 摘2	76 美術出版社	76 昭45	76 二八、000	76 曲がりの梵鐘	76 木戸忠太郎	76 高崎富士彦
77 味覚極楽	77 味覚極楽	77 美術出版社	77 摘2	77 美術出版社	77 昭45	77 二九、000	77 曲がりの梵鐘	77 木戸忠太郎	77 高崎富士彦
78 附新秋料理	78 附新秋料理	78 美術出版社	78 摘2	78 美術出版社	78 昭45	78 二一〇、000	78 曲がりの梵鐘	78 木戸忠太郎	78 高崎富士彦
79 定日本料理	79 定日本料理	79 美術出版社	79 摘2	79 美術出版社	79 昭45	79 二一、000	79 曲がりの梵鐘	79 木戸忠太郎	79 高崎富士彦
80 日本の塔	80 日本の塔	80 美術出版社	80 摘2	80 美術出版社	80 昭45	80 二二、000	80 曲がりの梵鐘	80 木戸忠太郎	80 高崎富士彦
81 京都の塔	81 京都の塔	81 美術出版社	81 摘2	81 美術出版社	81 昭45	81 二三、000	81 曲がりの梵鐘	81 木戸忠太郎	81 高崎富士彦
82 京都の塔	82 京都の塔	82 美術出版社	82 摘2	82 美術出版社	82 昭45	82 二四、000	82 曲がりの梵鐘	82 木戸忠太郎	82 高崎富士彦
83 京都の塔	83 京都の塔	83 美術出版社	83 摘2	83 美術出版社	83 昭45	83 二五、000	83 曲がりの梵鐘	83 木戸忠太郎	83 高崎富士彦
84 京都の塔	84 京都の塔	84 美術出版社	84 摘2	84 美術出版社	84 昭45	84 二六、000	84 曲がりの梵鐘	84 木戸忠太郎	84 高崎富士彦
85 京都の塔	85 京都の塔	85 美術出版社	85 摘2	85 美術出版社	85 昭45	85 二七、000	85 曲がりの梵鐘	85 木戸忠太郎	85 高崎富士彦
86 京都の塔	86 京都の塔	86 美術出版社	86 摘2	86 美術出版社	86 昭45	86 二八、000	86 曲がりの梵鐘	86 木戸忠太郎	86 高崎富士彦
87 京都の塔	87 京都の塔	87 美術出版社	87 摘2	87 美術出版社	87 昭45	87 二九、000	87 曲がりの梵鐘	87 木戸忠太郎	87 高崎富士彦
88 京都の塔	88 京都の塔	88 美術出版社	88 摘2	88 美術出版社	88 昭45	88 二一〇、000	88 曲がりの梵鐘	88 木戸忠太郎	88 高崎富士彦
89 京都の塔	89 京都の塔	89 美術出版社	89 摘2	89 美術出版社	89 昭45	89 二一、000	89 曲がりの梵鐘	89 木戸忠太郎	89 高崎富士彦
90 京都の塔	90 京都の塔	90 美術出版社	90 摘2	90 美術出版社	90 昭45	90 二二、000	90 曲がりの梵鐘	90 木戸忠太郎	90 高崎富士彦
91 京都の塔	91 京都の塔	91 美術出版社	91 摘2	91 美術出版社	91 昭45	91 二三、000	91 曲がりの梵鐘	91 木戸忠太郎	91 高崎富士彦
92 京都の塔	92 京都の塔	92 美術出版社	92 摘2	92 美術出版社	92 昭45	92 二四、000	92 曲がりの梵鐘	92 木戸忠太郎	92 高崎富士彦
93 京都の塔	93 京都の塔	93 美術出版社	93 摘2	93 美術出版社	9				

604

京都市中京区河原町通三条上ル
(朝日会館前)

キクオ書店

当店は、洋書・歴史・郷土史・民族・民俗・東洋・南洋・山岳・探検書に力を入れて売買しております。当店の「洋書古書目録」歴史・日本・中国関係・民族学・山岳関係を中心に掲載」を作成致しました。ご希望の方はお申下さい。

—日本の神話・民話・昔話特集—

- | | | | | | | |
|--------|-----------------|----------------------|--------|--------|----------|---------------|
| 1 | 日本昔話集成 | 関敬吾 | 六冊揃 | 角川 | 昭48 | 云、0000 |
| 2 | 日本伝説研究 | 國說日本民俗全集 | 全八卷のうち | 四冊 | 藤沢彌彦 | 昭48
西、0000 |
| 3 | 伝説民話考 | 日本昔話通観 | 柳田國男 | 成光館 | 昭49 | 四、五〇〇〇 |
| 4 | 口承文藝叢史考 | 日本昔話通観 | 柳田國男 | 中央公論社 | 昭22 | 一、二〇〇〇 |
| 5 | 京洛新書 物語と語り物 | 全国昔話記録 | 柳田國男 | 角川 | 昭34 | 一、二〇〇〇 |
| 6 | 國說日本民俗全集 第一卷 | 日本の伝説 | 山田書院 | 昭34 | 各、六〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 7 | 日本昔話通観 | 日本の伝説 | 山田書院 | 昭55 | 六、〇〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 8 | 日本昔話通観 | 日本の伝説 | 山田書院 | 昭53 | 各、六、〇〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 9 | 全国昔話記録 | 日本の伝説 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 10 | 日本の伝説 | 日本の伝説 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 11 | 日本の伝説 | 日本の伝説 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 12 | 民話伝説の旅 | 房総・愛媛・山陰・淡路・出雲・伊豆・東京 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 13 | 風土記抄 | 山田書院 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 14 | 播磨風土記物語 | 山田書院 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 15 | 常陸風土記物語 | 山田書院 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 16 | 校定出雲国風土記 | 松岡静雄 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 17 | 伝説の大津 大津市役所 | 島根県典説叢書 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 18 | 日本伝承民俗童話全集 第二卷 | 弘文堂 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 19 | シリーズ・民話と教育 | 刀江書院 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 20 | 民話教材と同和教育 | 刀江書院 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 21 | 民話と変身と抵抗の世界 | 明治図書 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 22 | 幼児と民話 小松崎進 | 内外出版 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 23 | 民話と子ども 言文文化小松崎進 | 河出書房 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 24 | 児童文学論 坪田譲治 | 明治図書 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 25 | 民話の手帳 (2号・5号) | 西日本圖書 | 山田書院 | 昭42 | 一、二〇〇〇 | 一、二〇〇〇 |
| 昭53-22 | 小松崎進 鳩の森書房 | 昭48 | 一、三〇〇〇 | 昭53-29 | 三、〇〇〇〇 | 三、〇〇〇〇 |
| 昭50 | 鳩の森書房 | 昭48 | 一、五〇〇〇 | 昭53 | 三、〇〇〇〇 | 三、〇〇〇〇 |
| 昭53 | 西日本圖書 | 昭49 | 一、〇〇〇〇 | 昭53 | 一、〇〇〇〇 | 一、〇〇〇〇 |
| 昭53 | 西日本圖書 | 昭50 | 一、〇〇〇〇 | 昭53 | 一、〇〇〇〇 | 一、〇〇〇〇 |

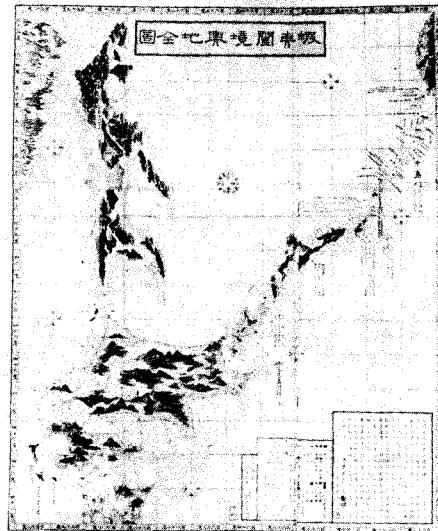
一
全集特価

- | | | |
|---------------|---------------------------------|-----------|
| 近江大衆の伝説民話 | サンブライド出版 | 昭52 |
| 近江の伝説 | 三重県郷土資料刊行会 | 昭51 |
| 鈴鹿の昔話 | 日本放送出版協会 | 昭53 |
| 丹後の昔話(日本の昔話2) | 京都府総合資料館編 | 昭48 |
| 京のわらべうた | 白川書院 | 昭51 |
| 岡山のむかし話 | 福武書店 | 昭49 |
| 民話の里 防長紀行第三卷 | 朝日新聞社 | 昭51 |
| 土佐の妖怪 | 朝日新聞社 | 昭52 |
| 琉球文庫 | (1)琉球の伝説集(3)琉球の怪談集 | 昭33各、ハコ |
| 朝鮮の伝説話集 | 背イタム | 昭34 |
| 朝鮮の民話 | 太平出版社 | 昭50 |
| 南方の民話 | 輝文堂書房 | 昭18 |
| 日本の民話 | ⑥出羽 ⑦上州 ⑧安芸備 | 昭47 各、二〇〇 |
| 未來社 | 輝文堂書房 | 一、八〇 |
| 日本のおとぎ | ⑨吉城 ⑩伊勢志摩 ⑪久島久 ⑫八丈島 ⑬京都 ⑭遠江 ⑮駿河 | 昭47 各、二〇〇 |
| 日本の民話 | 未来社 | 少汚 |
| ①伊予 ②出雲 ③福島 | ①夏目 ②安芸備後 ③おなごく・岩手 | 昭47 各、二〇〇 |
| 日本のおとぎ | 未来社 | 少汚 |
| ①伊予 ②出雲 ③福島 | ①夏目 ②安芸備後 ③おなごく・岩手 | 昭47 各、二〇〇 |
| 各 | 各 | 各 |

蝦夷國境輿地全図

嘉永七年刊

藤田厚齋著・橋本正蘭繪・画木版彩色
表紙改装・國良裏打アリ
九五×一九九厘



帙入 300,000円

信州筑摩郡木曾図 延享四年写

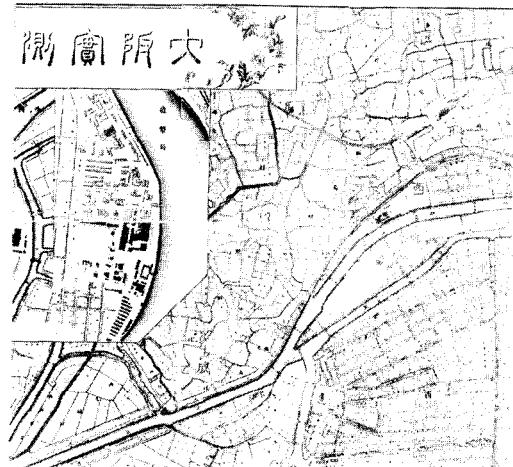
58.5×43.0厘 彩色
沢・谷・川名を詳細に記している。

一八、〇〇〇円

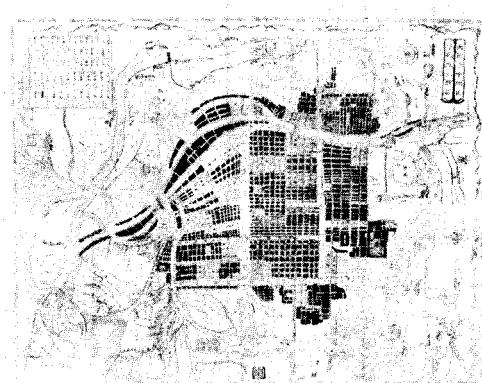
大阪実測図

五千分一 明治二十二年刊

内務省地理局 江島鴻山鑄
刊記に曰「明治七年業ヲ興明年春圖成ル爾來參補修止
益ニ其精ヲ尽シ今乍三至リ地圖全ク成ル三
明治十九年一月 地理局圖藉課同二十一年初版刊行
日本圖はその再版。地租改正後の市街番号入。明治市街
圖中の特筆すべき出来事。出来事。
一枚三十九×二十四厘の小圖を六枚宛裏打し全
六枚の切図として一組となす。
全部合わせると一三九×二四厘の大図。保存良原題
付桐箱入 五〇〇〇〇円



大阪市中地区町名改正絵図
銅版彩色 題簽欠保存良



明治五年 71.5×57.5厘 48,000

◎新撰増補京大絵図

墨刷

享保年 林氏吉永用一五〇〇〇円
銅版彩色

◎細見丹後国大絵図

墨刷

明治五年 橋本澄月編一八、〇〇〇円
銅版彩色

天保十一年池田東籬亭六〇〇〇〇円

丁530 大阪市北区芝田町一丁目六番二号
振替 (○六) 三七四一 一二〇〇円
(株) 臨川書店 大阪店

上京区河原町通出川上ル
電話(〇七五)一三二一七七二
北区西大路通平野神社北隣
電話(〇七五)四六二一三三七

〒600-8201 京都市下京区七条通堀川角

谷 書 店

古

南宋版 大般若經 卷五一三 一帖 150,000円

律宗新學作持要文一冊 150,000円
覺盛著
應永八年唐招提寺版

〒
600
京都市下京区寺町通り五条上ル
藤井文政堂
電話（〇七五）三五一九三六五
振替 大阪 三一九三六五
五

密教事相大系	北村太道著 B5・三二〇頁 定価八、〇〇〇円 千二〇〇円	和チベット文大日経略訳 ○「大日経」のチベット訳の註釈書、完全和訳 A5・一〇八頁 定価九〇〇円 千一六〇円	真言友の会編 B6・一二二頁 定価一、二〇〇円 千一六〇円	吉祥真雄著 吉宗考正著 A5・一〇六頁 定価一、〇〇〇円 千一〇〇円	弘法のこどば 追善供養のお話とその心得
--------	---------------------------------	--	----------------------------------	--	------------------------

吉祥真雄著	A5	五四頁	定価一〇〇〇円
夏目祐伸編	A5	一九九頁	定価一八〇〇円
岩原謙信著	A5	二二〇頁	定価一八〇〇円
A5	七八八頁	定価六八〇〇円	定価二八〇〇円
南山進流著	A5	二二八〇頁	定価二八〇〇円

(21) 御注文は各書店へ

〒602
京都市上京区今出川通り寺町西入ル

藤原北御所書房

電話
（〇七五）二四一五九八

〒602 京都市上京区烏丸通り上御靈前下ル
上御靈前町四一二

萩書

振替京都四

4	1	圖書保管法	〔重版限定 日本近世社會史の研究	林 靖一著	八、〇〇〇
3	2	児童精神衛生学	〔近代精神アダム・スミス著 ジエラム・自我と意識	高島善哉編	六、五〇〇
2	5	男女関係の進化	〔少婦古籍 現代人面録	大杉榮譯	春陽堂 大 14
1	6	磯邊實譯	〔尾池義雄著 久津見誠村著	中西書房	昭 3
1	7	教育圖書機	〔吉江森松著 近代文明と藝術	山根書店	昭 25
1	8	弘學館 大 6	〔岸田務著 潟湖の汚濁	技研出版	昭 50
1	9	大 1	〔河野市次郎著 儒教批判	凡人社	昭 4
1	10	昭 30	〔久津見誠村著 現代人面録	昭 1	六、〇〇〇
1	11	昭 30	〔京都府立醫科大學八十一年史 章馬山房復活記	内牛出版社	六、〇〇〇
1	12	昭 30	〔平井社 聖將東郷平八郎傳	昭 10	六、〇〇〇
1	13	昭 30	〔小笠原長生著 牧野元次郎	改造社	昭 9
1	14	昭 30	〔武者小路篤著 英學文庫 現れるるに花の研究	昭 11	四、〇〇〇
1	15	昭 30	〔石川林四郎著 日本外神史	研究社	大 14
1	16	昭 30	〔小金井喜美子著 東洋印刷史序説	八木書店	三、〇〇〇
1	17	昭 30	〔西岡秀雄著 日本カラヌ紹史	高橋書店	三、〇〇〇
1	18	昭 30	〔柳田國男著 轔わが山わが溪	弘文堂書房	二、〇〇〇
1	19	昭 30	〔關重廣著 鳥と獣 第二版	墨水書房	二、〇〇〇
1	20	昭 30	〔内田清之助著 鳥と鳥	河出書房	一、〇〇〇
1	21	昭 30	〔中村精著 登山案内	平樂寺書店	一、〇〇〇
1	22	昭 30	〔中村精著 岳 初版	昭 31	一、〇〇〇
1	23	昭 30	〔中川隆章編 轔わが山わが溪	日本山岳會	一、〇〇〇
1	24	昭 30	〔柳田國男著 轔わが山わが溪	各冊	一、〇〇〇
1	25	昭 30	〔内田清之助著 鳥と獣 第二版	各冊	一、〇〇〇
1	26	昭 30	〔中西悟堂著 鐵道省編	各冊	一、〇〇〇
1	27	昭 30	〔黒田孝雄編 日本山岳會	各冊	一、〇〇〇
1	28	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第二年	各冊	一、〇〇〇
1	29	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第五年	各冊	一、〇〇〇
1	30	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六年	各冊	一、〇〇〇
1	31	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第七年	各冊	一、〇〇〇
1	32	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第八年	各冊	一、〇〇〇
1	33	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第九年	各冊	一、〇〇〇
1	34	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第十年	各冊	一、〇〇〇
1	35	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第十一年	各冊	一、〇〇〇
1	36	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第十二年	各冊	一、〇〇〇
1	37	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第十三年	各冊	一、〇〇〇
1	38	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第十四年	各冊	一、〇〇〇
1	39	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第十五年	各冊	一、〇〇〇
1	40	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第十六年	各冊	一、〇〇〇
1	41	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第十七年	各冊	一、〇〇〇
1	42	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第十八年	各冊	一、〇〇〇
1	43	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第十九年	各冊	一、〇〇〇
1	44	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第二十年	各冊	一、〇〇〇
1	45	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第二十一年	各冊	一、〇〇〇
1	46	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第二十二年	各冊	一、〇〇〇
1	47	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第二十三年	各冊	一、〇〇〇
1	48	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第二十四年	各冊	一、〇〇〇
1	49	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第二十五年	各冊	一、〇〇〇
1	50	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第二十六年	各冊	一、〇〇〇
1	51	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第二十七年	各冊	一、〇〇〇
1	52	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第二十八年	各冊	一、〇〇〇
1	53	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第二十九年	各冊	一、〇〇〇
1	54	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第三十年	各冊	一、〇〇〇
1	55	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第三十一年	各冊	一、〇〇〇
1	56	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第三十二年	各冊	一、〇〇〇
1	57	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第三十三年	各冊	一、〇〇〇
1	58	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第三四年	各冊	一、〇〇〇
1	59	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第三五年	各冊	一、〇〇〇
1	60	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第三六年	各冊	一、〇〇〇
1	61	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第三七年	各冊	一、〇〇〇
1	62	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第三八年	各冊	一、〇〇〇
1	63	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第三九年	各冊	一、〇〇〇
1	64	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第四十一年	各冊	一、〇〇〇
1	65	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第四十二年	各冊	一、〇〇〇
1	66	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第四十三年	各冊	一、〇〇〇
1	67	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第四四年	各冊	一、〇〇〇
1	68	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第四五年	各冊	一、〇〇〇
1	69	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第四六年	各冊	一、〇〇〇
1	70	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第四七年	各冊	一、〇〇〇
1	71	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第四八年	各冊	一、〇〇〇
1	72	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第四九年	各冊	一、〇〇〇
1	73	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第五十一年	各冊	一、〇〇〇
1	74	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第五十二年	各冊	一、〇〇〇
1	75	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第五十三年	各冊	一、〇〇〇
1	76	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第五四年	各冊	一、〇〇〇
1	77	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第五五年	各冊	一、〇〇〇
1	78	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第五六年	各冊	一、〇〇〇
1	79	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第五七年	各冊	一、〇〇〇
1	80	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第五八年	各冊	一、〇〇〇
1	81	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第五九年	各冊	一、〇〇〇
1	82	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	83	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	84	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	85	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	86	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	87	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	88	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	89	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	90	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	91	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	92	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	93	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	94	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	95	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	96	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	97	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	98	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	99	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	100	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	101	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	102	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	103	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	104	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	105	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	106	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	107	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	108	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	109	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	110	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	111	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	112	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	113	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	114	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	115	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	116	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	117	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	118	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	119	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	120	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	121	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	122	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	123	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	124	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	125	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	126	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	127	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	128	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	129	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	130	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	131	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	132	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	133	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	134	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	135	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	136	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	137	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	138	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	139	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	140	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	141	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	142	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	143	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	144	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	145	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	146	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	147	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	148	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	149	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	150	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	151	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	152	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	153	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	154	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	155	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	156	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	157	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	158	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	159	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	160	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	161	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	162	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	163	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	164	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	165	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	166	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	167	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	168	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	169	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	170	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	171	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	172	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	173	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	174	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	175	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	176	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	177	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	178	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	179	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	180	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	181	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	182	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	183	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	184	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	185	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	186	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	187	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	188	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	一、〇〇〇
1	189	昭 30	〔日本山岳會 岩と雪 第六十一年	各冊	

〒606
京都市左京区田中里ノ前町56

福田屋書店

電話(〇七五)七八一三三三六

1	私の国語教育	大
2	小中学生読み方教育	大
3	読方学習の新研究	大
4	心理的読方の実際	大
5	読方教育の本領	大
6	力の読方教育	大
7	直観的読方教育の原理と実際	大
8	現代読方教育	大
9	読み方教育	大
10	現代国語教育の革新	大
11	読みの解釈学的実践	大
12	全体の読方教育	大
13	世界教育行脚	大
14	姓氏系図辞書	大
15	日本昔話事典	大
16	近世風俗事典	大
17	時代風俗考証事典	大
18	年中行事辞典	大
19	日本の名産事典	大
20	全国ふるさと博物館ガイド	大
21	趣味の駿名事典	大
22	京都の市電 保存版	大
23	京都のしるべ石	大
24	京都の研究 経済史研究特輯	大
25	仏教美術調査提要	大
26	祭り曼陀羅 千社札	大
27	藩札図録 一帙	大
28	絵錢譜 乾坤	大
29	内閣印刷局七十年史	大
30	家憲止鑑	大
31	神農思考(药店研究)	大
32	動物奇観	大
33	安藤木村	大
34	千葉春雄	大
35	小林佐源治	大
36	奥野庄太郎	大
37	原田直茂	大
38	田上新吉	大
39	佐藤末吉	大
40	西原慶一	大
41	昭和	大
42	昭和	大
43	昭和	大
44	昭和	大
45	昭和	大
46	昭和	大
47	昭和	大
48	昭和	大
49	昭和	大
50	昭和	大
51	昭和	大
52	昭和	大
53	昭和	大
54	昭和	大
55	昭和	大
56	昭和	大
57	昭和	大
58	昭和	大
59	昭和	大
60	昭和	大
61	昭和	大
62	昭和	大
63	昭和	大
64	昭和	大
65	昭和	大
66	昭和	大
67	昭和	大
68	昭和	大
69	昭和	大
70	昭和	大
71	昭和	大
72	昭和	大
73	昭和	大
74	昭和	大
75	昭和	大
76	昭和	大
77	昭和	大
78	昭和	大
79	昭和	大
80	昭和	大
81	昭和	大
82	昭和	大
83	昭和	大
84	昭和	大
85	昭和	大
86	昭和	大
87	昭和	大
88	昭和	大
89	昭和	大
90	昭和	大
91	昭和	大
92	昭和	大
93	昭和	大
94	昭和	大
95	昭和	大
96	昭和	大
97	昭和	大
98	昭和	大
99	昭和	大
100	昭和	大
101	昭和	大
102	昭和	大
103	昭和	大
104	昭和	大
105	昭和	大
106	昭和	大
107	昭和	大
108	昭和	大
109	昭和	大
110	昭和	大
111	昭和	大
112	昭和	大
113	昭和	大
114	昭和	大
115	昭和	大
116	昭和	大
117	昭和	大
118	昭和	大
119	昭和	大
120	昭和	大
121	昭和	大
122	昭和	大
123	昭和	大
124	昭和	大
125	昭和	大
126	昭和	大
127	昭和	大
128	昭和	大
129	昭和	大
130	昭和	大
131	昭和	大
132	昭和	大
133	昭和	大
134	昭和	大
135	昭和	大
136	昭和	大
137	昭和	大
138	昭和	大
139	昭和	大
140	昭和	大
141	昭和	大
142	昭和	大
143	昭和	大
144	昭和	大
145	昭和	大
146	昭和	大
147	昭和	大
148	昭和	大
149	昭和	大
150	昭和	大
151	昭和	大
152	昭和	大
153	昭和	大
154	昭和	大
155	昭和	大
156	昭和	大
157	昭和	大
158	昭和	大
159	昭和	大
160	昭和	大
161	昭和	大
162	昭和	大
163	昭和	大
164	昭和	大
165	昭和	大
166	昭和	大
167	昭和	大
168	昭和	大
169	昭和	大
170	昭和	大
171	昭和	大
172	昭和	大
173	昭和	大
174	昭和	大
175	昭和	大
176	昭和	大
177	昭和	大
178	昭和	大
179	昭和	大
180	昭和	大
181	昭和	大
182	昭和	大
183	昭和	大
184	昭和	大
185	昭和	大
186	昭和	大
187	昭和	大
188	昭和	大
189	昭和	大
190	昭和	大
191	昭和	大
192	昭和	大
193	昭和	大
194	昭和	大
195	昭和	大
196	昭和	大
197	昭和	大
198	昭和	大
199	昭和	大
200	昭和	大
201	昭和	大
202	昭和	大
203	昭和	大
204	昭和	大
205	昭和	大
206	昭和	大
207	昭和	大
208	昭和	大
209	昭和	大
210	昭和	大
211	昭和	大
212	昭和	大
213	昭和	大
214	昭和	大
215	昭和	大
216	昭和	大
217	昭和	大
218	昭和	大
219	昭和	大
220	昭和	大
221	昭和	大
222	昭和	大
223	昭和	大
224	昭和	大
225	昭和	大
226	昭和	大
227	昭和	大
228	昭和	大
229	昭和	大
230	昭和	大
231	昭和	大
232	昭和	大
233	昭和	大
234	昭和	大
235	昭和	大
236	昭和	大
237	昭和	大
238	昭和	大
239	昭和	大
240	昭和	大
241	昭和	大
242	昭和	大
243	昭和	大
244	昭和	大
245	昭和	大
246	昭和	大
247	昭和	大
248	昭和	大
249	昭和	大
250	昭和	大
251	昭和	大
252	昭和	大
253	昭和	大
254	昭和	大
255	昭和	大
256	昭和	大
257	昭和	大
258	昭和	大
259	昭和	大
260	昭和	大
261	昭和	大
262	昭和	大
263	昭和	大
264	昭和	大
265	昭和	大
266	昭和	大
267	昭和	大
268	昭和	大
269	昭和	大
270	昭和	大
271	昭和	大
272	昭和	大
273	昭和	大
274	昭和	大
275	昭和	大
276	昭和	大
277	昭和	大
278	昭和	大
279	昭和	大
280	昭和	大
281	昭和	大
282	昭和	大
283	昭和	大
284	昭和	大
285	昭和	大
286	昭和	大
287	昭和	大
288	昭和	大
289	昭和	大
290	昭和	大
291	昭和	大
292	昭和	大
293	昭和	大
294	昭和	大
295	昭和	大
296	昭和	大
297	昭和	大
298	昭和	大
299	昭和	大
300	昭和	大
301	昭和	大
302	昭和	大
303	昭和	大
304	昭和	大
305	昭和	大
306	昭和	大
307	昭和	大
308	昭和	大
309	昭和	大
310	昭和	大
311	昭和	大
312	昭和	大
313	昭和	大
314	昭和	大
315	昭和	大
316	昭和	大
317	昭和	大
318	昭和	大
319	昭和	大
320	昭和	大
321	昭和	大
322	昭和	大
323	昭和	大
324	昭和	大
325	昭和	大
326	昭和	大
327	昭和	大
328	昭和	大
329	昭和	大
330	昭和	大
331	昭和	大
332	昭和	大
333	昭和	大
334	昭和	大
335	昭和	大
336	昭和	大
337	昭和	大
338	昭和	大
339	昭和	大
340	昭和	大
341	昭和	大
342	昭和	大
343	昭和	大
344	昭和	大
345	昭和	大
346	昭和	大
347	昭和	大
348	昭和	大
349	昭和	大
350	昭和	大
351	昭和	大
352	昭和	大
353	昭和	大
354	昭和	大
355	昭和	大
356	昭和	大
357	昭和	大
358	昭和	大
359	昭和	大
360	昭和	大
361	昭和	大
362	昭和	大
363	昭和	大
364	昭和	大
365	昭和	大
366	昭和	大
367	昭和	大
368	昭和	大
369	昭和	大
370	昭和	大
371	昭和	大
372	昭和	大
373	昭和	大
374	昭和	大
375	昭和	大
376	昭和	大
377	昭和	大
378	昭和	大
379	昭和	大
380	昭和	大
381	昭和	大
382	昭和	大
383	昭和	大
384	昭和	大
385	昭和	大
386	昭和	大
387	昭和	大
388	昭和	大
389	昭和	大
390	昭和	大
391	昭和	大
392	昭和	大
393	昭和	大
394	昭和	大
395	昭和	大
396	昭和	大
397	昭和	大
398	昭和	大
399	昭和	大
400	昭和	大
401	昭和	大
402	昭和	大
403	昭和	大
404	昭和	大
405	昭和	大
406	昭和	大
407	昭和	大
408	昭和	大
409	昭和	大
410	昭和	大
411	昭和	大
412	昭和	大
413	昭和	大
414	昭和	大
415	昭和	大
416	昭和	大
417	昭和	大
418	昭和	大
419	昭和	大
420	昭和	大
421	昭和	大
422	昭和	大
423	昭和	大
424	昭和	大
425	昭和	大
426	昭和	大
427	昭和	大
428	昭和	大
429	昭和	大
430	昭和	大
431	昭和	大
432	昭和	大
433	昭和	大
434	昭和	大
435	昭和	大
436	昭和	大
437	昭和	大
438	昭和	大
439	昭和	大
440	昭和	大
441	昭和	大
442	昭和	大
443	昭和	大
444	昭和	大
445	昭和	大
446	昭和	大
447	昭和	大
448	昭和	大
449	昭和	大
450	昭和	大
451	昭和	大
452	昭和	大
453	昭和	大
454	昭和	大
455	昭和	大
456	昭和	大
457	昭和	大
458	昭和	大
459	昭和	大
460	昭和	大
461	昭和	大
462	昭和	大
463	昭和	大
464	昭和	大
465	昭和	大
466	昭和	大
467	昭和	大
468	昭和	大
469	昭和	大
470	昭和	大
471	昭和	大
472	昭和	大
473	昭和	大
474	昭和	大
475	昭和	大
476	昭和	大
477	昭和	大
478	昭和	大
479	昭和	大
480	昭和	大
481	昭和	大
482	昭和	大
483	昭和	大
484</td		

〒606

(京都府左京区今出川通百万遍東入
(京都大学前))

井

上

書

店

電話(○七五) 七八一―三五二
振替 京都 二二一四九七

1	アベバの猫柳(限定版)	草野心平 昭	三、〇〇〇
2	いろいろの天使(詩集)	串田孫一 昭	六、〇〇〇
3	空に小鳥がいなくなつた日(詩集)	谷川俊太郎 昭	四、〇〇〇
4	重量喪失(詩画集)	高見順 昭	四、〇〇〇
5	鮎川信夫戦中手記(詩論集)	昭	四、〇〇〇
6	三熊野詣	三島由紀夫 昭	四、〇〇〇
7	英靈の声	三島由紀夫 昭	四、〇〇〇
8	複雑な彼	三島由紀夫 昭	四、〇〇〇
9	三島由紀夫十代作品集	志賀直哉 昭	四、〇〇〇
10	八手の花	川端康成 昭	四、〇〇〇
11	竹の声桃の花	大庭笛吹 昭	四、〇〇〇
12	笛吹川	沢がに 昭	四、〇〇〇
13	幻化	川端康成 昭	四、〇〇〇
14	日のちぢまり	大庭笛吹 昭	四、〇〇〇
15	非現実主義的超現実主義の覚え書	島尾敏雄 昭	四、〇〇〇
16	朝の歌(中原中也伝)	尾崎春生 昭	四、〇〇〇
17	在りし日(中原中也の死)	白秋 昭	四、〇〇〇
18	工作者宣言	大庭笛吹 昭	四、〇〇〇
19	六白金星	島尾敏雄 昭	四、〇〇〇
20	人間失格	大庭笛吹 昭	四、〇〇〇
21	織田作之助	太宰治 昭	四、〇〇〇
22	冬刻詩集	大木淳夫 昭	四、〇〇〇
23	悪蟲	椎名麟三 昭	一、七〇〇
24	初期作品集	椎名麟三 昭	一、七〇〇
25	無常	唐木順三 昭	一、七〇〇
26	日本が日本であるためには	木下順三 昭	一、七〇〇
27	胸の本搾にしたがえ	井上光晴 昭	一、七〇〇
28	(以上十七点全部初版、箱、カバー付美本です。)	柳亮 初版	一、七〇〇
29	無明と愛染	谷崎潤一郎 再版	一、七〇〇
30	吉野朝の悲歌	川田順 初版	一、七〇〇
31	東京おぼえ帳	幸田露伴 平山蘆江	一、七〇〇
32	真西遊記(色木版入)	一、七〇〇	一、七〇〇

〒602

(京都市左京区烏丸通今出川上ル
(同志社正門前))

沢

田

書

店

電話(○七五) 四五一―〇五三
振替 京都 一九一四八

1	鈴木大拙全集	岩波書店	函付三十二冊揃 昭	金、〇〇〇
2	新修京都双書	光彩社	函付 二十冊揃 昭	金、〇〇〇
3	新譯三才發秘	石橋等学 著 岩波社	函付 限定版 昭	六、〇〇〇
4	現代短歌大系	三一書房	函付 上二冊揃 昭	二、〇〇〇
5	柿本人麿	齊藤茂吉	カバー付 昭	三、〇〇〇
6	峨翁老師遺稿	山田無文編	非売品 函付 昭	三、〇〇〇
7	ヘブライ史	石橋智信他	カバー付 昭	二、〇〇〇
8	空想家ミナリオ	中野重治	改道社	一、〇〇〇
9	酒壺の微笑	青木広吉 童星閣	カバー付 昭	一、〇〇〇
10	雪国	川端康成	函付 第十五版 昭	一、〇〇〇
11	神の道化師	椎名麟三	新タカハシ 著者名作選 初版カバー付	一、〇〇〇
12	あけぼの隨筆集	新村出	初版カバー付	一、〇〇〇
13	桐の花	白秋	新刊及向北原白秋 墨屋房	一、〇〇〇
14	音楽と文化	河上徹二郎	河上徹二郎 著 年次作品集	一、〇〇〇
15	コルフファウストの人間	桑島健一	創元選書	一、〇〇〇
16	エリエル第九の波	泉鏡花	創元選書	一、〇〇〇
17	欧洲文學發達史	ノートルダムドワリ	河上徹二郎 著 春陽堂	一、〇〇〇
18	ゴットフ・アウストの人生	ドストエフスキイの生活	内田百閒 著 近藤浩二路	一、〇〇〇
19	第二回ソヴェト作家大全	エリエル第九の波	堀口大學 謹	一、〇〇〇
20	合同出版	泉鏡花	柏葉書院	一、〇〇〇
21	写真諜報	山室みすず書房	内田百閒 著 浅川玉児	一、〇〇〇
22	久遠の生命	ノーランの詩	高村武次	一、〇〇〇
23	魅惑	サントアマダ選集	佐藤寛	一、〇〇〇
24	ラファエルの素描	水鏡の歌	高村武次	一、〇〇〇
25	ルノワールの追憶	ジヤコブ詩法	内藤浩二路	一、〇〇〇
26	獨逸の銅版画	新刊版	堀口大學 謹	一、〇〇〇
27	魅惑	成光館	成光館	一、〇〇〇
28	ラファエルの素描	柳亮 初版	内立出版	一、〇〇〇
29	無明と愛染	佐藤輝夫 初版	成光館	一、〇〇〇
30	吉野朝の悲歌	カバーフ付	昭	一、〇〇〇
31	希臘影刻	カバーフ付	昭	一、〇〇〇
32	ゾクク影刻	カバーフ付	昭	一、〇〇〇
33	森口多里	富永惣一	カバーフ付	一、〇〇〇
34	署名入非完品	アトリエ社	カバーフ付	一、〇〇〇
35	柚木久太画冊	アトリエ社	カバーフ付	一、〇〇〇

〒606

(京都市左京区一乗寺里ノ前町24-12
(石川古本店))

石

川

古

本

店

電話(○七五) 七一―五四九二
講談社 昭 三、〇〇〇2 年鑑イラストレーション
講談社 昭 三、〇〇〇3 日本タイポグラフィ年鑑
グラフィック社 昭 三、〇〇〇4 雑誌あまとりあ終刊号
あまとりあ社 昭 三、〇〇〇5 日本たばこ名鑑
甲斐仁 甲鳥書林 昭 三、〇〇〇6 泉屋叢考、第拾參輯
別子銅山の発見と開発 昭 三、〇〇〇7 現代畫壇の巨匠
豊田豊 美術春秋社 昭 三、〇〇〇8 映画科学研究10号
往来社 昭 三、〇〇〇9 映画鑑賞手帖
創元社 昭 二、〇〇〇10 映画手帖
創元社 昭 一、〇〇〇11 日本近代史辞典
京大映画部 東洋経済 昭 一、〇〇〇12 水の生活科学
村上秀一 柏葉書院 昭 一、〇〇〇13 長唄名曲要説
長唄友の会 昭 一、〇〇〇14 映画連載
創元社 昭 一、〇〇〇15 映画手帖
創元社 昭 一、〇〇〇16 禅の捷径
堀口大學 謹17 校風漫画
内田百閒 著18 遺難川舌話
内田百閒 著19 禅の詩
内田百閒 著20 植物と傳説シーケ
内田百閒 著21 魔境の黒豹
内田百閒 著22 死刑囚2455号
内田百閒 著23 黄色の部屋
内田百閒 著24 美術入門
内干出版 大425 エジプトの藝術
アルス 上方定一

26 下店静一 天地書院

27 育藤幸藏譯 新潮社

28 水谷準証 日本出版

29 南洋一郎 東雲堂

30 北原哲夫 東京書院

31 昭28

32 吉川寛 光文社

33 講談社 国民社

34 昭27

35 月刊

増補 蓮月尼全集

村上素道編

大田垣蓮月は幕末の女流歌人。夫の死後、尼僧となり、陶器に自詠の歌を書いた「蓮月焼」で生計を立て、東山に高潔の生涯を送つた。本書は蓮月の歌、消息、伝記を収める「蓮月尼全集」昭和二年刊の増補復刻版。旧版に、新たに発見された歌集、書画帖、消息の影印・翻刻およそ一〇〇頁を加えて刊行する。

本書の内容
 和歌篇 海人の刈藻、拾遺／消息篇 記篇 祖先、誠子の出生、幼年時代、妙齡時代、家庭時代、別居孝養時代 岡崎錦織時代、西賀茂時代／逸事篇 増補 和歌篇 蓮月歌集、花くらべ(画帖)／消息篇 書簡二三八通／伝書簡四九通

十一月中旬刊 ■菊判・六六〇頁／定価九、八〇〇円

好評の新刊！

泰山流 四柱推命学入門

《伊藤泰山 喜寿記念出版》



A5判／総三四〇頁／上製本ケース入・付録付
 好評発売中
 ▼二、六〇〇円

日本で最高権威を保つ阿部泰山氏の高弟である伊藤泰山女史が、自らの半生をあてはめて、正しく、わかりやすく「四柱推命学」を伝えた入門書です。ご愛読ください。

四柱推命学事典

龜石塵風・著

日本で初めて刊行された専門事典。四柱推命学に関する古今の文献を涉り、斯学において使用される殆どの専門用語一四四〇項目を収録。豊富な図表、命式例等を併載して、各種推命書読解に必要な基本的解釈法、看命法の要点を、初学者にもわかり易く詳説した唯一の図書。

A5判／総三三〇頁／図表三〇／命式例三〇／早見表付 ▼一三、〇〇〇円

阿部泰山全集(全22巻)

四柱推命学の最高権威

▼四、五〇〇円

四柱推命学の要訣

伊藤泰山・著

▼各巻一、五〇〇円

四柱推命学看命辞典

龜石塵風・著

▼予価一八、〇〇〇円

思文閣出版

京都市左京区田中閑田町二・七〇七五—七八一
 東京都千代田区三崎町二・二〇〇三・二六三・六三四八

十月下旬刊行

A5判・四二〇頁
 定価八、五〇〇円

内容目次

第一編 機織史の概要	神代 上代 飛鳥奈良時代 平安時代 鎌倉
第二編 明治以降	室町時代 安土桃山時代 江戸時代
第三編 西陣機業の消長	西陣以前の京都機織 西陣機業の興起 徳川幕府の内陣保護策確立 西陣高機織屋仲ヶ間の成立 西陣機業の隆替 西陣織屋仲ヶ間の解散 西陣の興亡 西陣の発展 西陣の完成
第四編 織錦の傑作 織錦の豪華 織技の変遷	

● 内容案内送呈

発行所 京都書院

604 京都市中京区堀川通三条上
 電075-841-9123

12月上旬発売！ A5判／総五〇〇頁／堅牢上製

▼予価一八、〇〇〇円